

第5章 東日本大震災による影響

5-1 研究者への影響

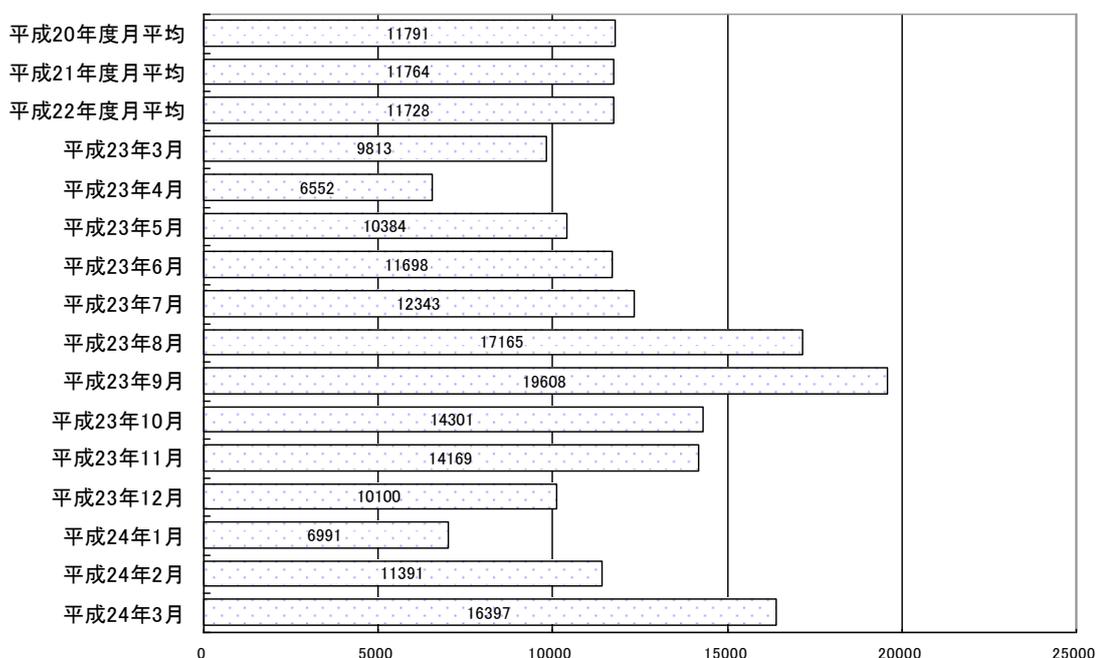
ここでは、平成23年3月以降月別における研究者の海外派遣の推移を示す。

(1) 派遣研究者数の推移(平成23年3月以降月別)

海外への派遣研究者数の推移をみると、平成23年4月に大幅に少なくなっているが、7月には平成20年度～平成22年度月平均値以上に増加した。

平成24年3月は、平成23年3月に比べて1.5倍以上の人数となっており、平成23年3月は派遣中止等の影響があった可能性がある。

なお、派遣研究者数の月別カウントは、派遣期間中は毎月計上している。



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

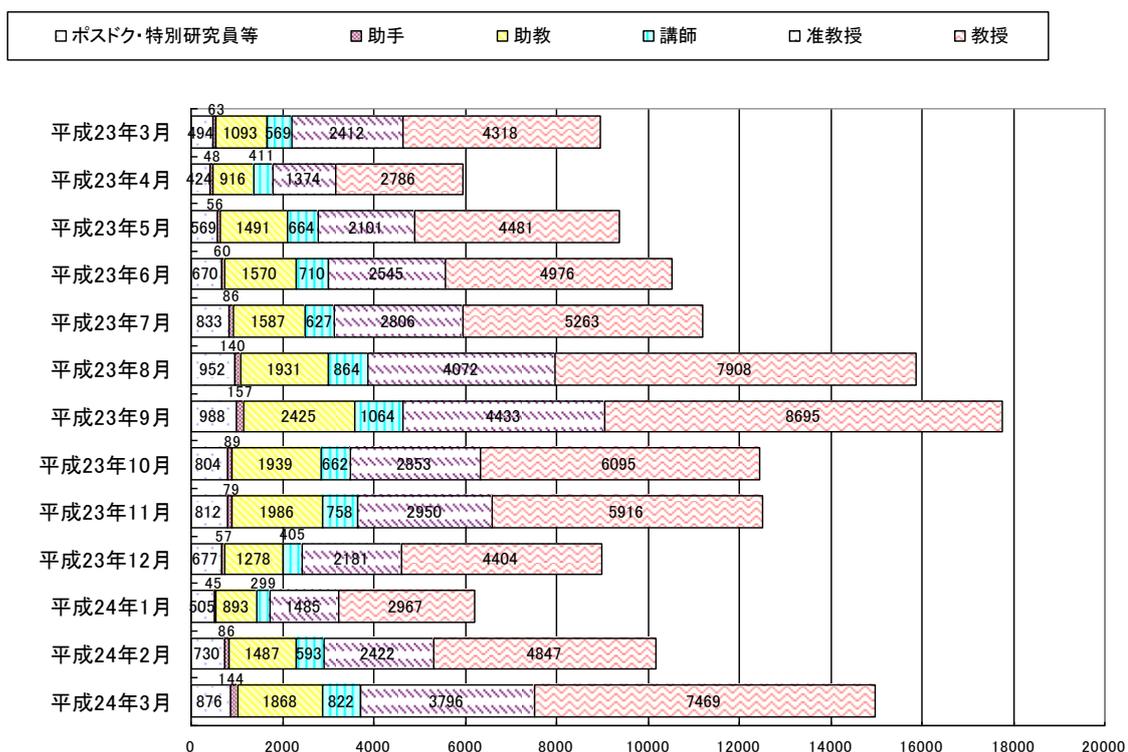
図表 5.1 派遣研究者数月別推移(大学等+独法等)【職位別】

(2)派遣研究者への影響(平成23年3月以降月別)

①大学等における海外派遣研究者数(職位別、分野別、理由別)

大学等における派遣研究者数の月別推移をみると、平成23年4月は少なくなっている。平成24年3月の派遣研究者数は、平成23年3月に比べて1.5倍程となっており、震災により派遣を中止した等の影響があったものと推察される。

一方、海外派遣の理由は、震災とは無関係となっており、震災を理由として海外に研究の場を移した研究者はいない。

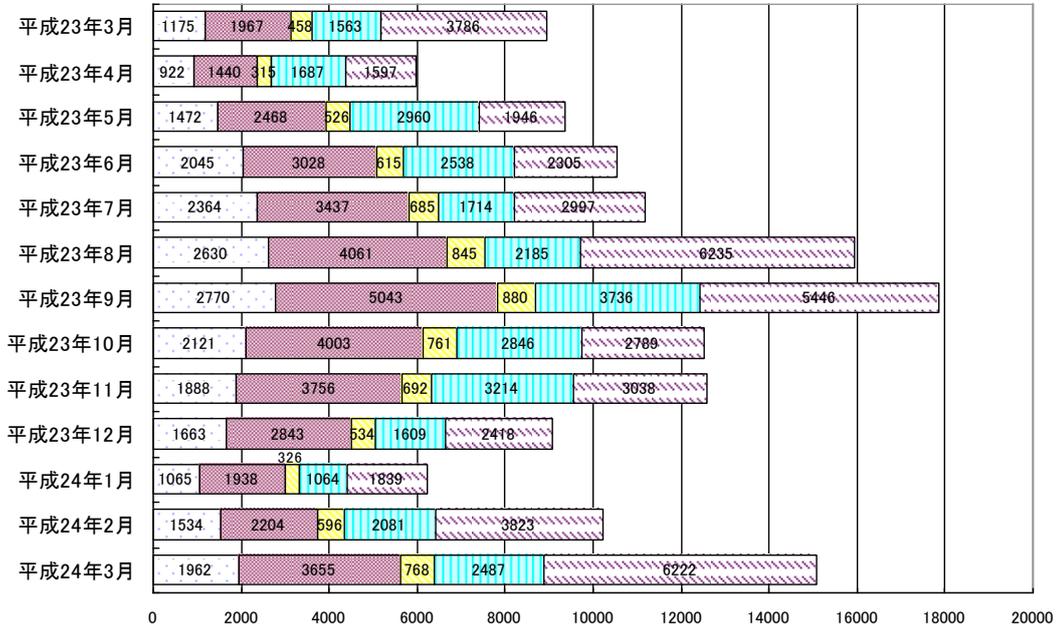


(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.2 派遣研究者数月別推移(大学等)【職位別】

□ 理学 ■ 工学 □ 農学(農林・水産・獣医・畜産・その他) □ 保健(医歯薬学・その他) □ 人文・社会科学

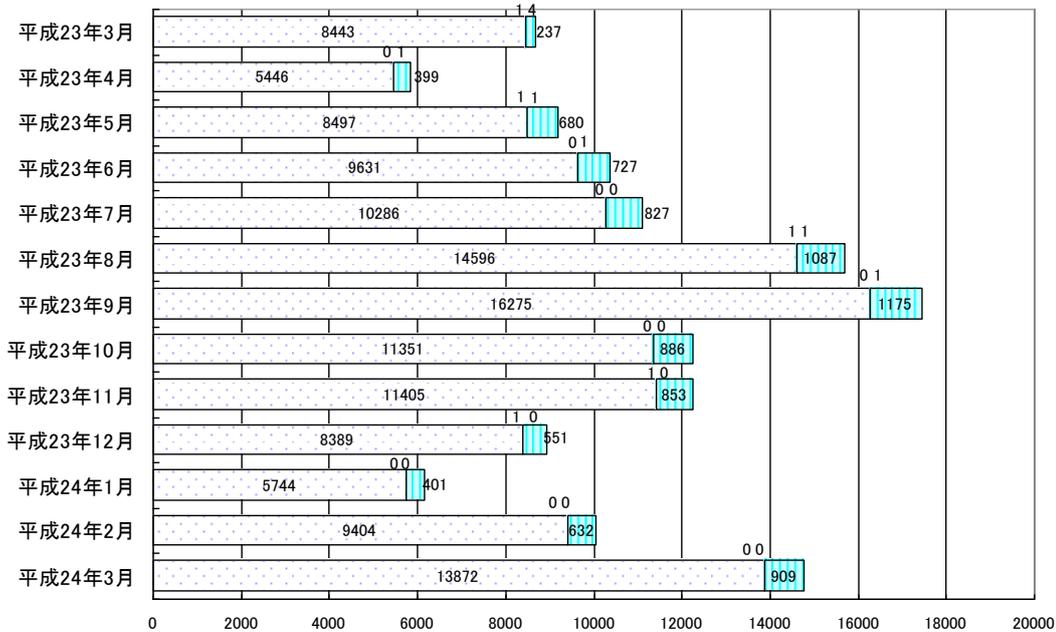


(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.3 派遣研究者数月別推移(大学等)【分野別】

□ 震災とは無関係 ■ 震災による影響(研究環境) □ 震災による影響(研究環境以外) □ 理由不明



(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

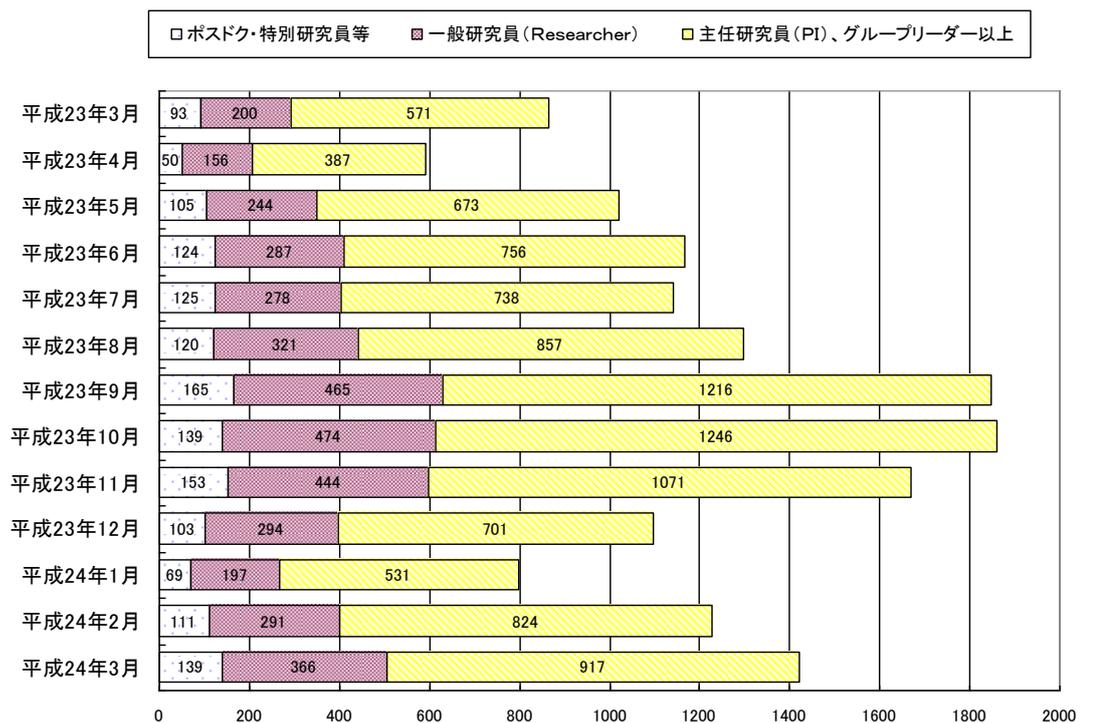
(人)

図表 5.4 派遣研究者数月別推移(大学等)【理由別】

②独法等における海外派遣研究者数（職位別、分野別、理由別）

独法等における派遣研究者の月別推移をみると、大学等と同じ傾向であり、平成23年4月が最も少なくなっている。平成24年3月は、平成23年3月に比べ1.5倍程となっていることから、平成23年3月は震災の影響により海外派遣が減少した可能性がある。

一方、派遣の理由は、震災と無関係となっており、震災を理由に海外に研究の場を移した研究者はみられない。

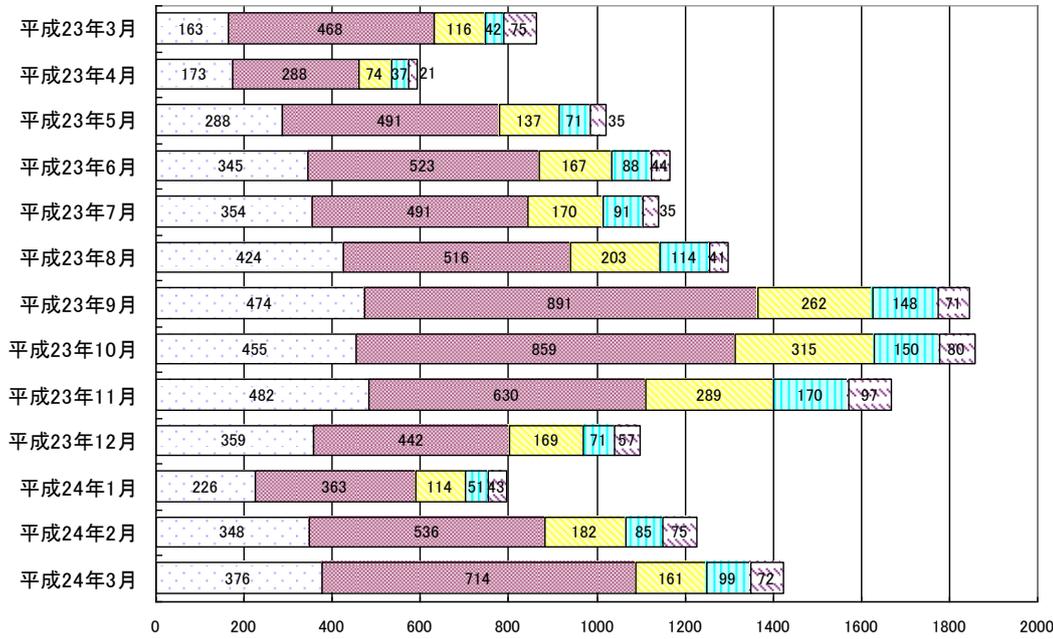


(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.5 派遣研究者数月別推移（独法等）【職位別】

□理学 ■工学 □農学(農林・水産・獣医・畜産・その他) □保健(医歯薬学・その他) □人文・社会科学

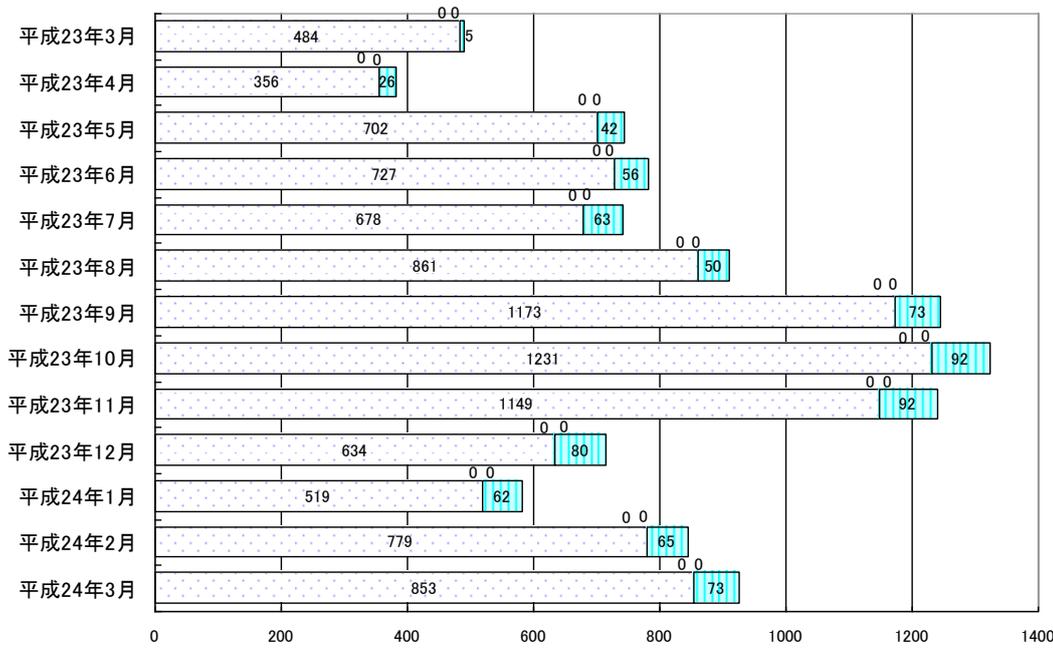


(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.6 派遣研究者数月別推移(独法等)【分野別】

□震災とは無関係 ■震災による影響(研究環境) □震災による影響(研究環境以外) □理由不明



(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.7 派遣研究者数月別推移(独法等)【理由別】

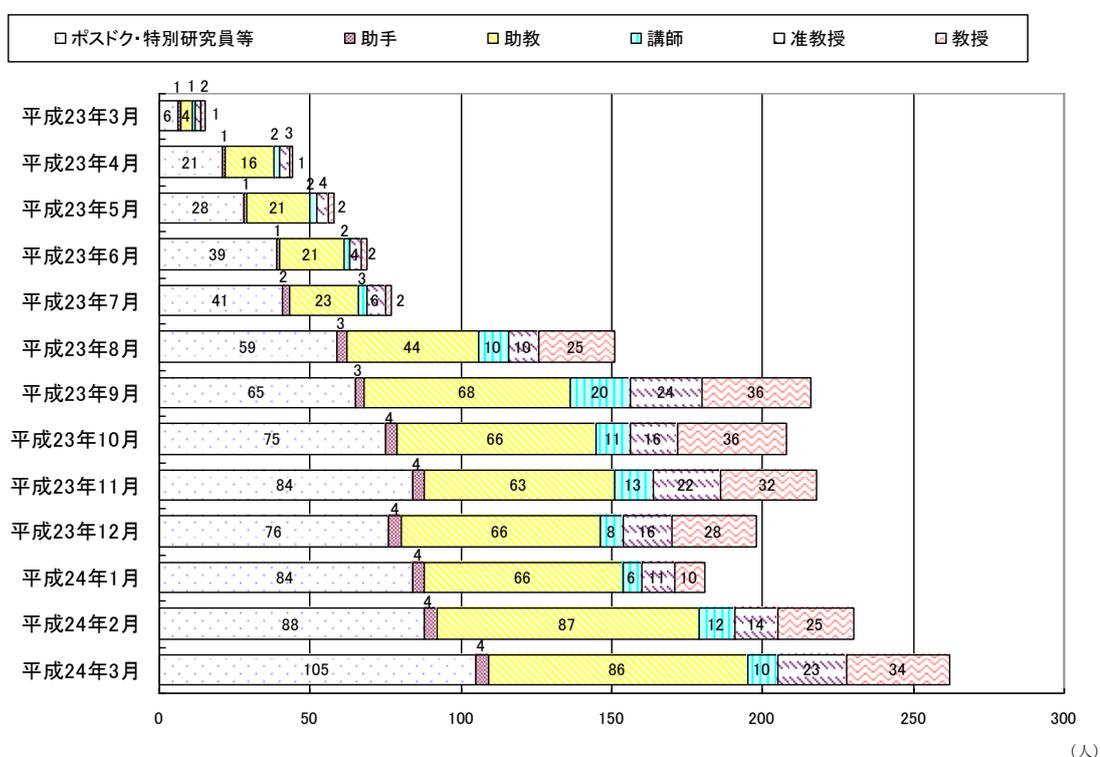
(3)研究者の海外機関への就職(平成23年3月以降月別)

①大学等における海外就職研究者数(職位別、分野別、理由別)

大学等における海外に就職した研究者数をみると、平成23年8月及び9月に大幅に増加している。これは海外の大学等の新年度開始に合わせた就職と推察される。

就職の理由をみると、震災とはほとんど無関係となっている。ただし、平成23年8月以降、研究環境以外での影響をうけたためとの回答が数人程度(1~4人)あり、震災の影響が全くない訳ではない。

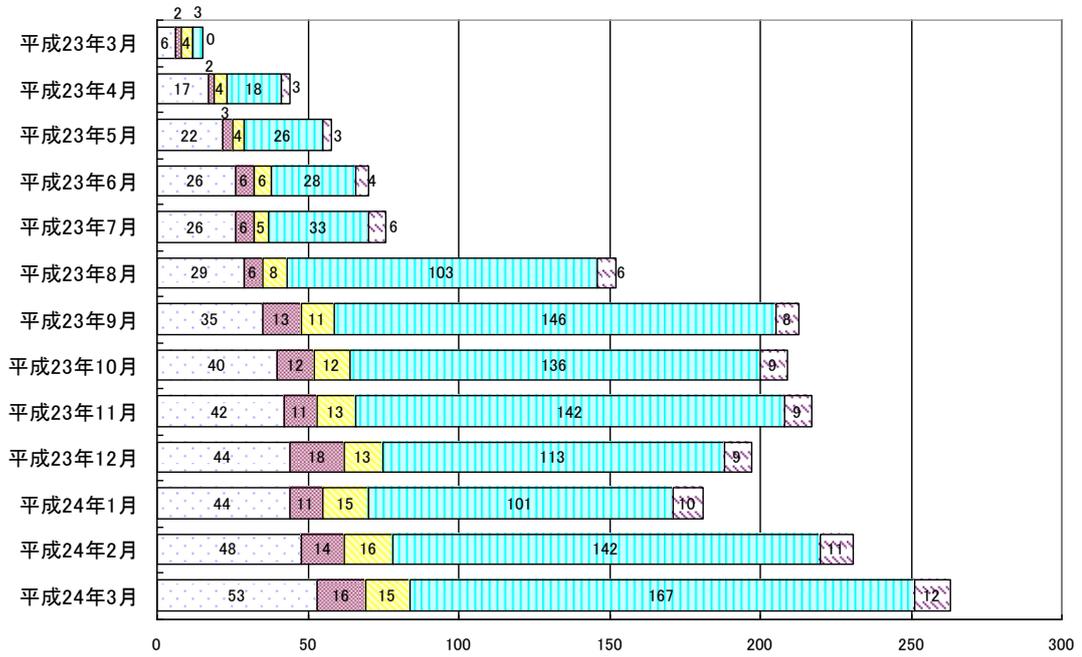
なお、月別海外就職数のデータは、当該研究者が海外就職した月以降、契約期間中は毎月計上している。



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.8 研究者の海外就職月別推移(大学等)【職位別】

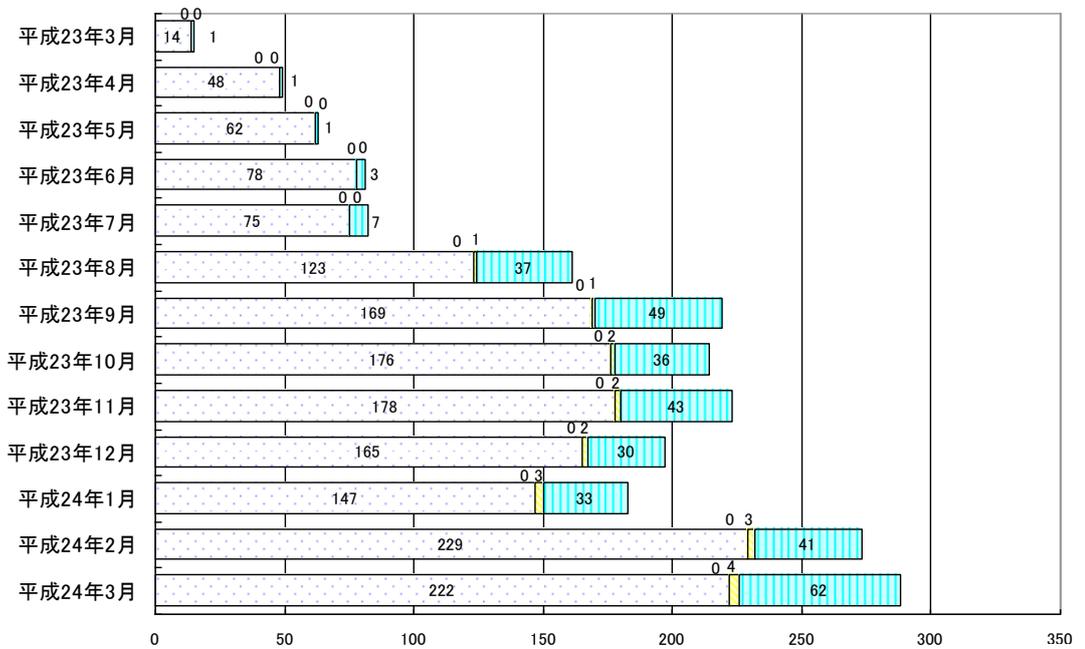
理学
 工学
 農学(農林・水産・獣医・畜産・その他)
 保健(医歯薬学・その他)
 人文・社会科学



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.9 研究者の海外就職月別推移(大学等)【分野別】

震災とは無関係
 震災による影響(研究環境)
 震災による影響(研究環境以外)
 理由不明

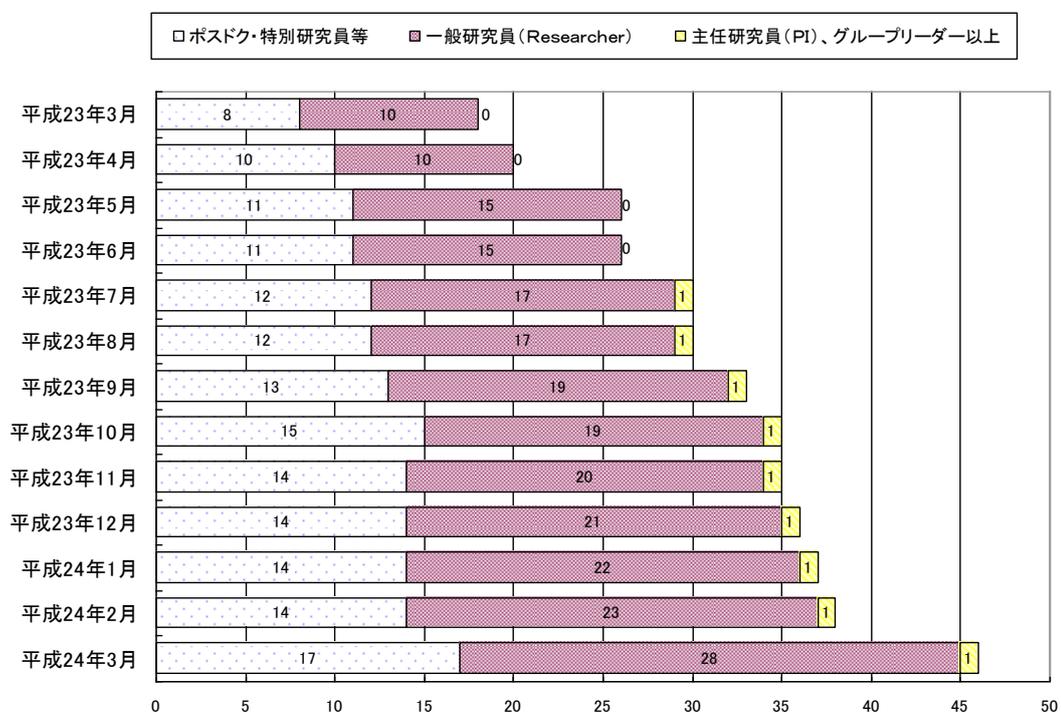


(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.10 研究者の海外就職月別推移(大学等)【理由別】

②独法等における海外就職研究者数（職位別、分野別、理由別）

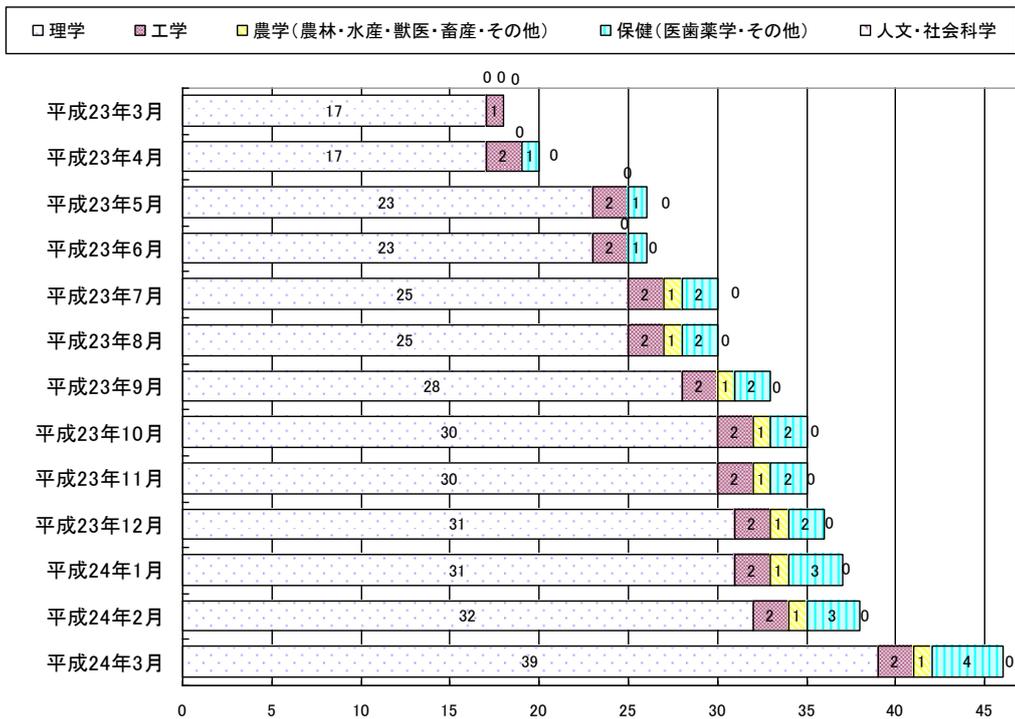
独法等における海外就職研究者数は、平成24年3月、4月はそれほど多くなっていない。就職の理由をみると、震災とは全て無関係となっている。



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

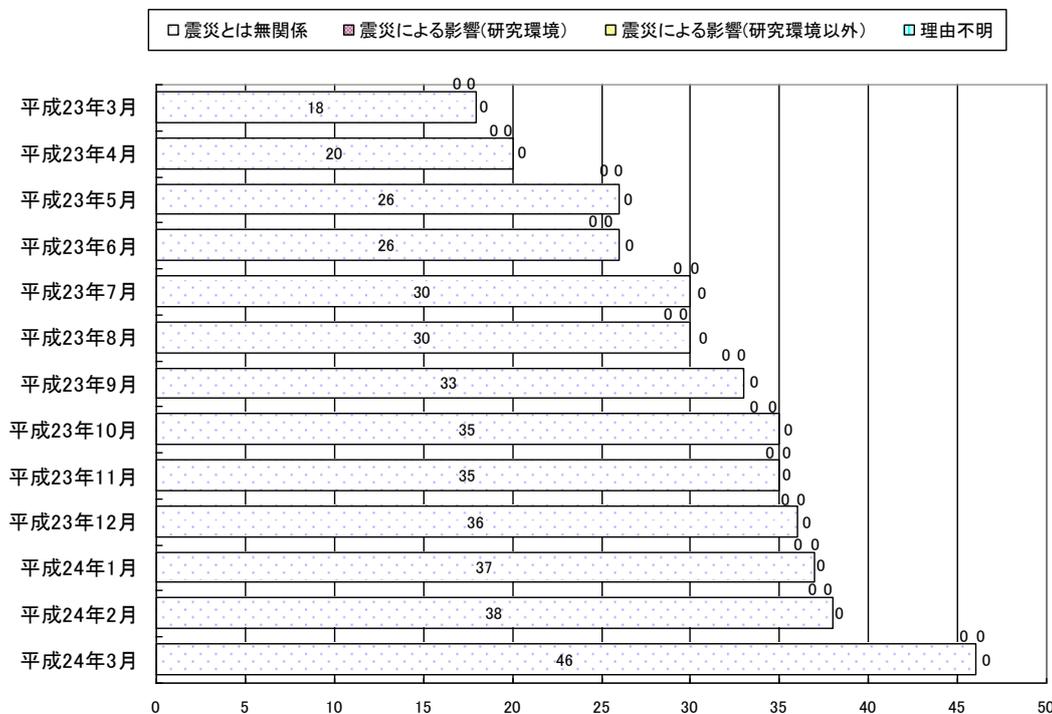
図表 5.11 研究者の海外就職月別推移（独法等）【職位別】



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.12 研究者の海外就職月別推移(独法等)【分野別】



(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.13 研究者の海外就職月別推移(独法等)【理由別】

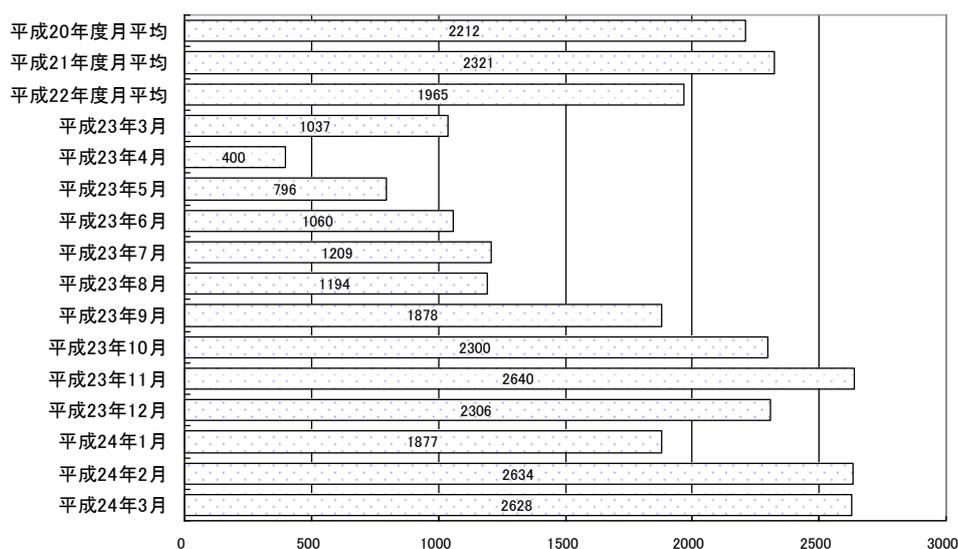
5-2 外国人研究者への影響

(1) 受入研究者数の推移(平成 23 年 3 月以降月別)

① 受入研究者数 (期間 (短期/中長期) 別)

海外からの短期受入研究者数は、平成 23 年 4 月に大幅に減少した後、6 月に 3 月と同じ水準となっており、4 月～5 月にかけて震災の影響があった可能性がある。平成 23 年 9 月以降は過去 3 年の月平均並みとなっており、震災の影響は無くなったものと推察される。

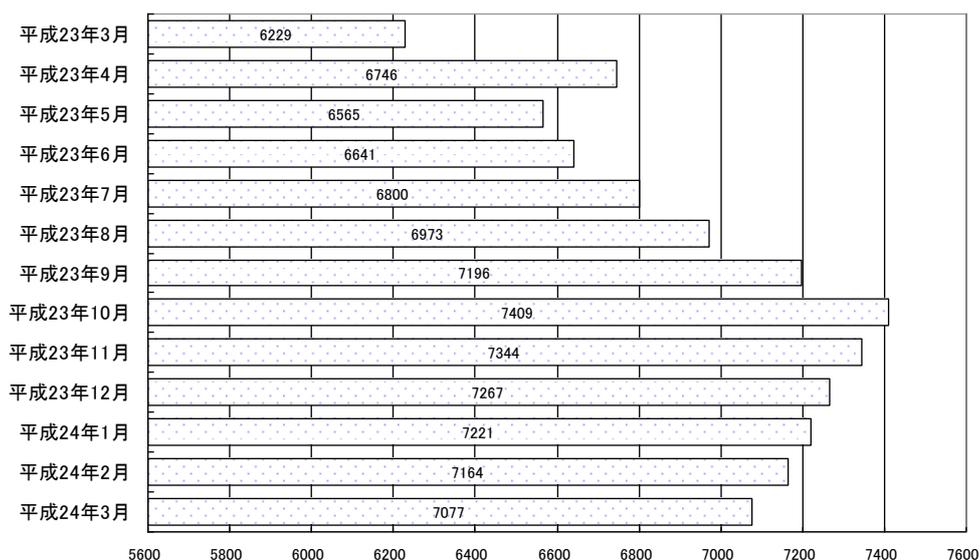
中長期受入研究者数は、平成 23 年 3 月が最も少なくなっており、震災による影響があったものと推察される。



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.14 受入研究者数月別推移 (大学等+独法等) (短期) 【職位別】



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

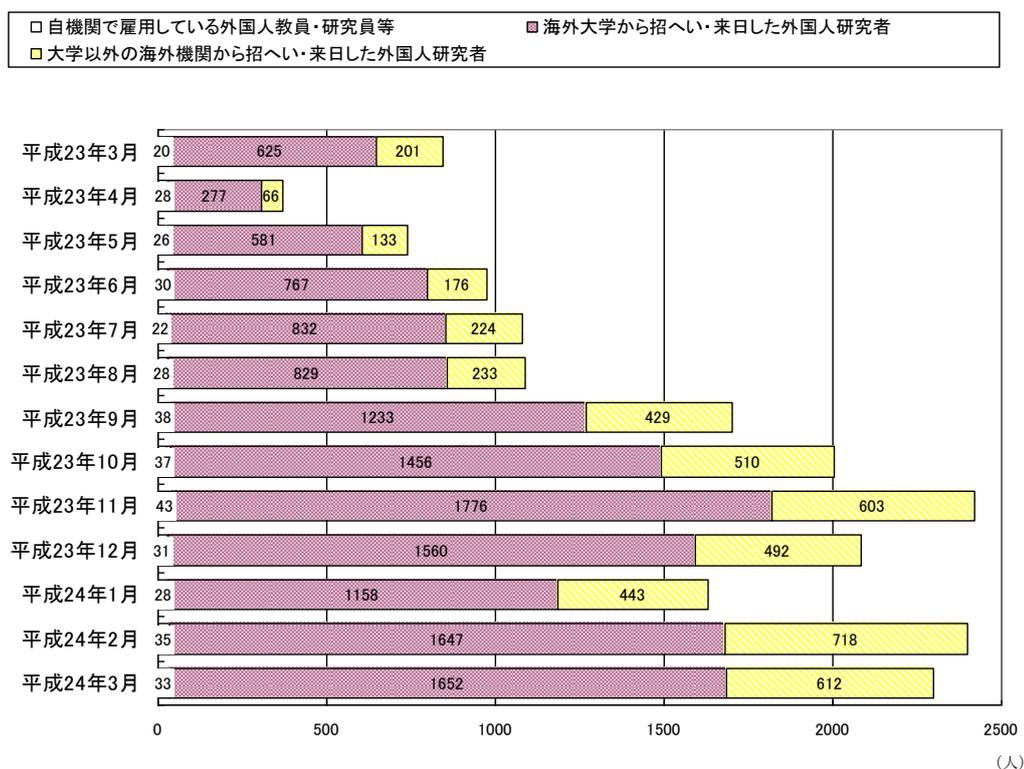
図表 5.15 受入研究者数月別推移 (大学等+独法等) (中長期) 【職位別】

(2)受入研究者への影響(平成23年3月以降月別)

①大学等の受入研究者数 (雇用／招へい別、職位別、分野別)

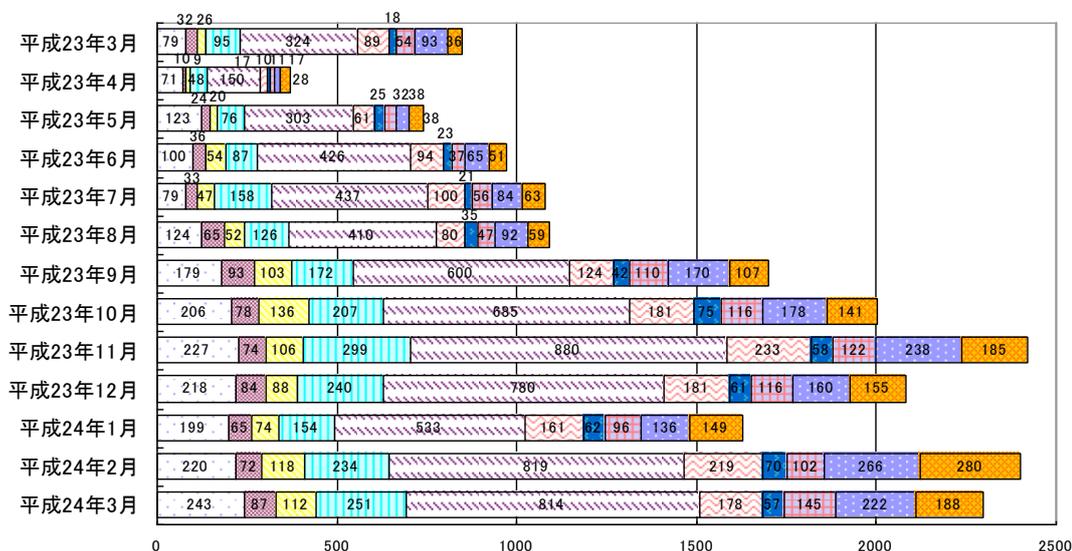
大学等における短期受入研究者数の月別推移をみると、平成23年4月には前月の約半数に減少しており、震災により新規受入の中止、延期等の影響があった可能性がある。

中長期受入研究者数は、平成23年3月が最も少なく、平成24年3月は平成23年3月より増加していることから、中長期受入についても平成23年3月は一定の影響を受けたものと推察される。



(注) 雇用、招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

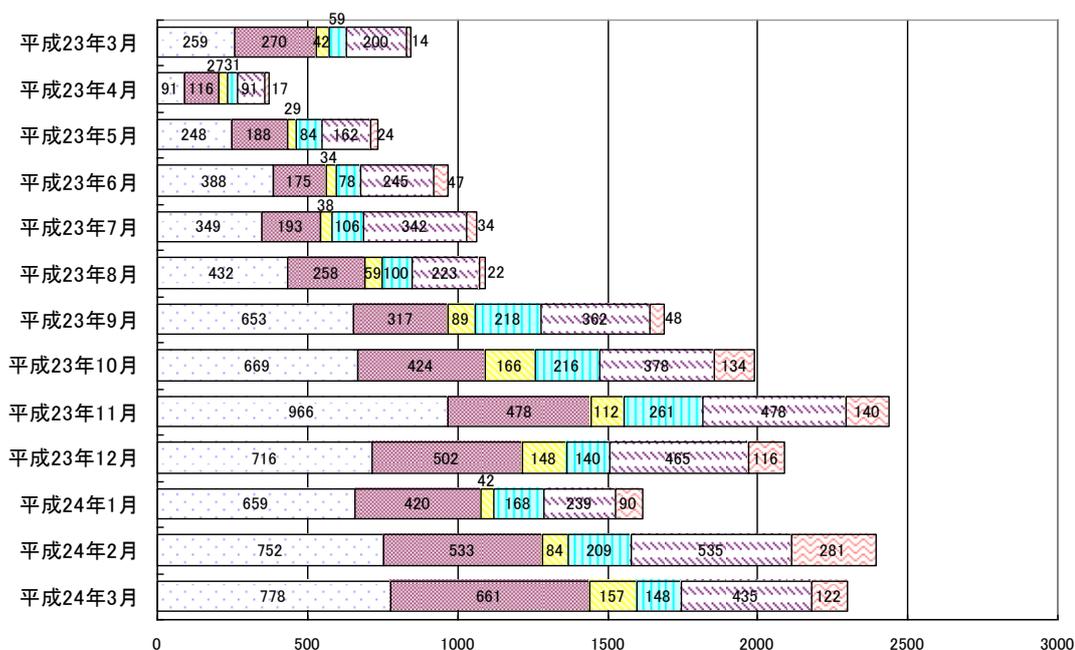
図表 5.16 受入研究者数月別推移(大学等)【雇用／招へい別】(短期)



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.17 受入研究者数月別推移(大学等)【職位別】(短期)

(人)

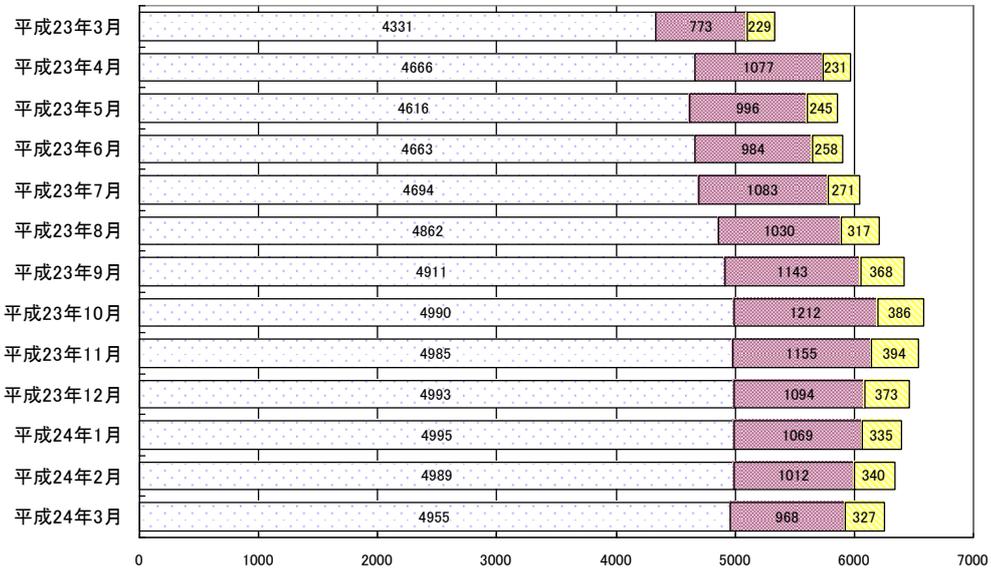


(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.18 受入研究者数月別推移(大学等)【分野別】(短期)

(人)

貴機関で雇用している外国人教員・研究員等
 海外大学から招へい・来日した外国人研究者
 大学以外の海外機関から招へい・来日した外国人研究者



(注) 雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.19 受入研究者数月別推移（大学等）【雇用／招へい別】（中長期）

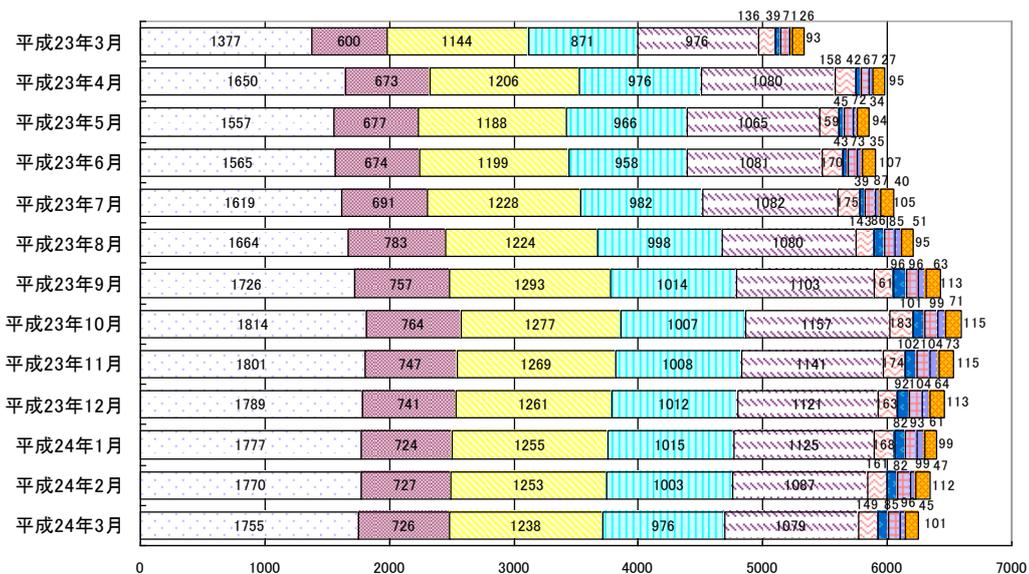
(人)

大学【ポストク・特別研究員等】
 大学【助手・助教】
 大学【講師】

大学【准教授】
 大学【教授】
 大学【職位不明】

大学以外【ポストク・特別研究員等】
 大学以外【一般研究員】
 大学以外【主任研究員等以上】

大学以外【職位不明】

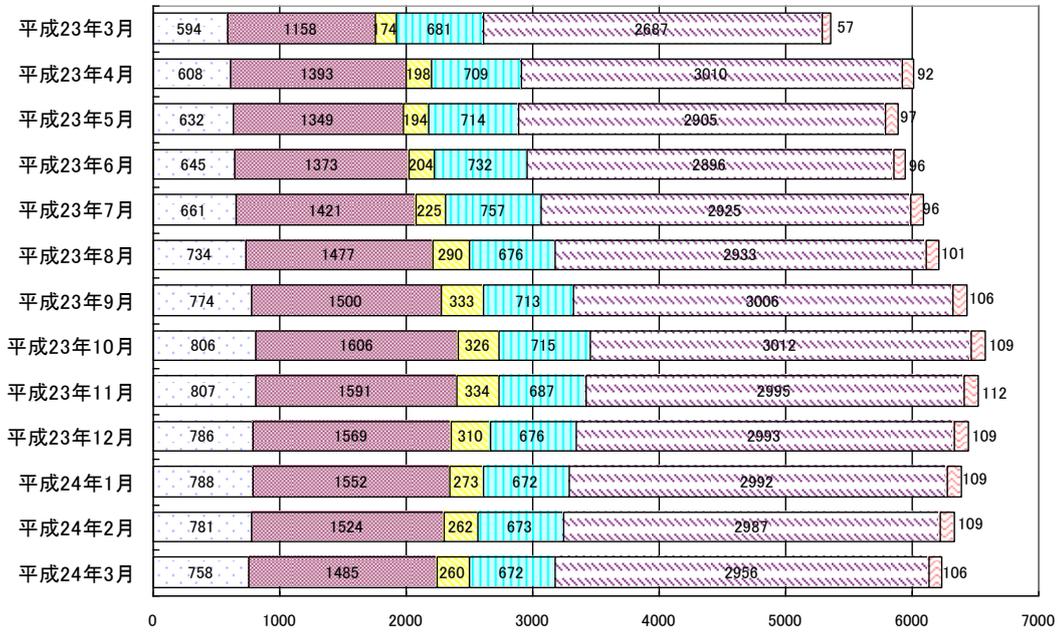


(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.20 受入研究者数月別推移（大学等）【職位別】（中長期）

(人)

□ 理学 ■ 工学 □ 農学(農林・水産・獣医・畜産・その他) □ 保健(医歯薬学・その他) □ 人文・社会科学 □ 不明



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

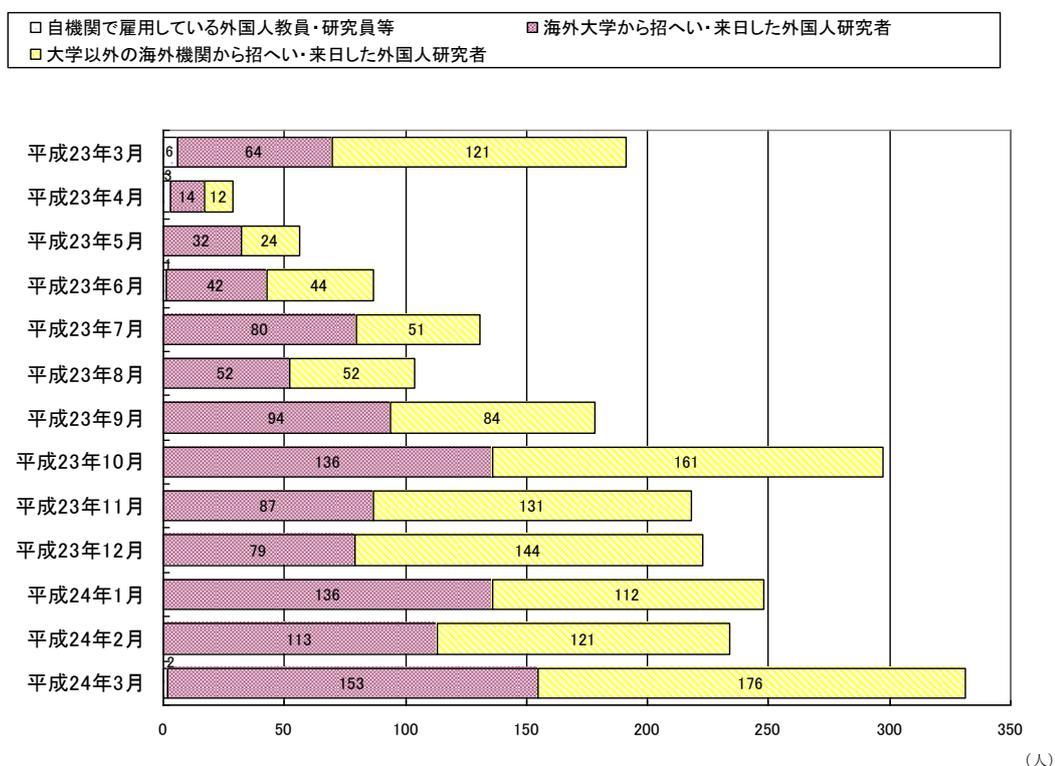
(人)

図表 5.21 受入研究者数月別推移(大学等)【分野別】(中長期)

②独法等の受入研究者数（雇用／招へい別、職位別、分野別）

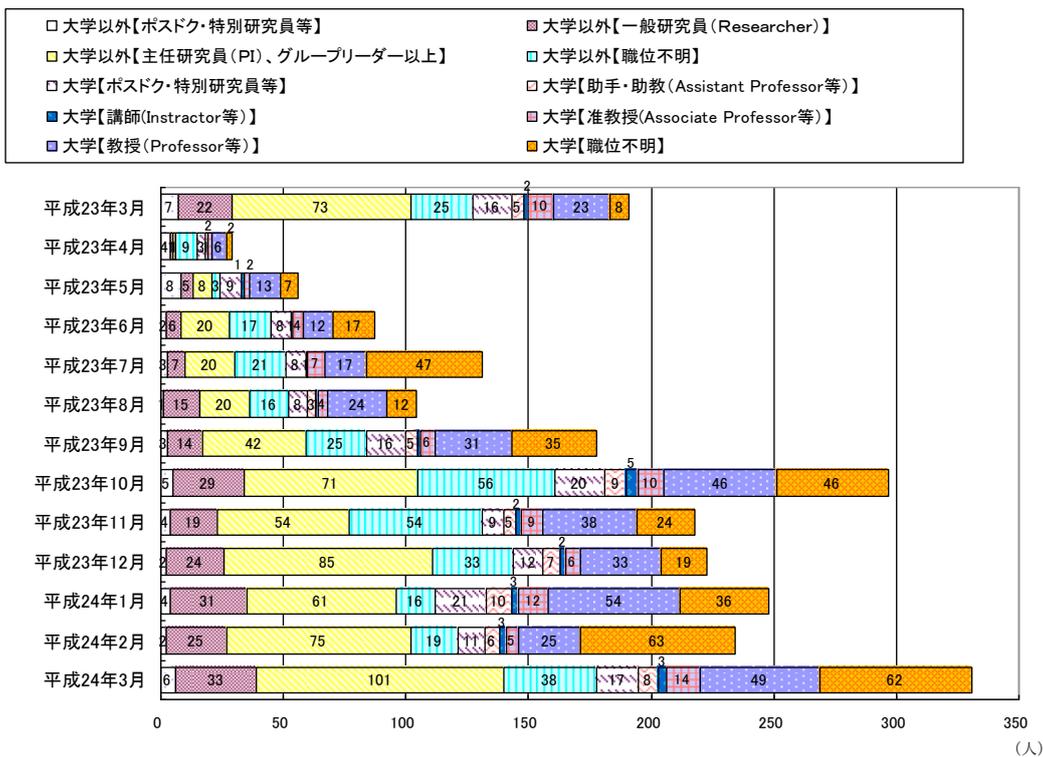
平成23年3月～平成24年3月の間の独法等における短期受入研究者数は、平成23年4月は他の月に比べて少なくなっており、震災により新規受入の中止等の影響があったものと推察される。

中長期受入研究者数についても、震災後受入研究者数が減少し、平成23年5月が最も少ない。また、平成24年3月の受入研究者数は平成23年3月より約1割少なくなっており、震災の影響が及んでいる可能性がある。



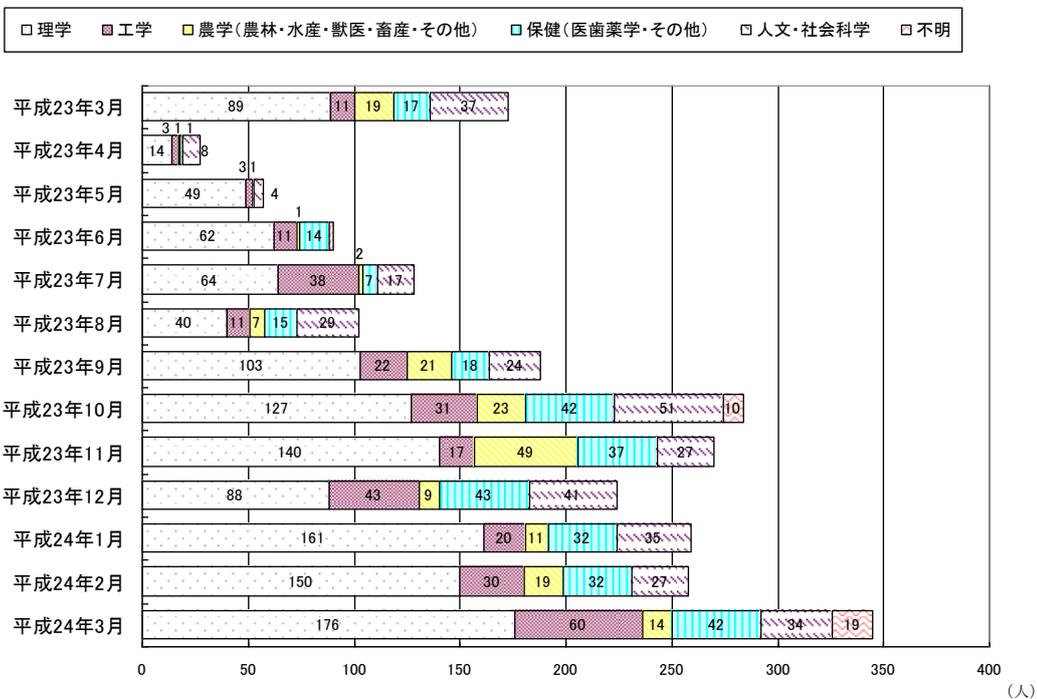
(注) 雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.22 受入研究者数月別推移（独法等）【雇用／招へい別】（短期）



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

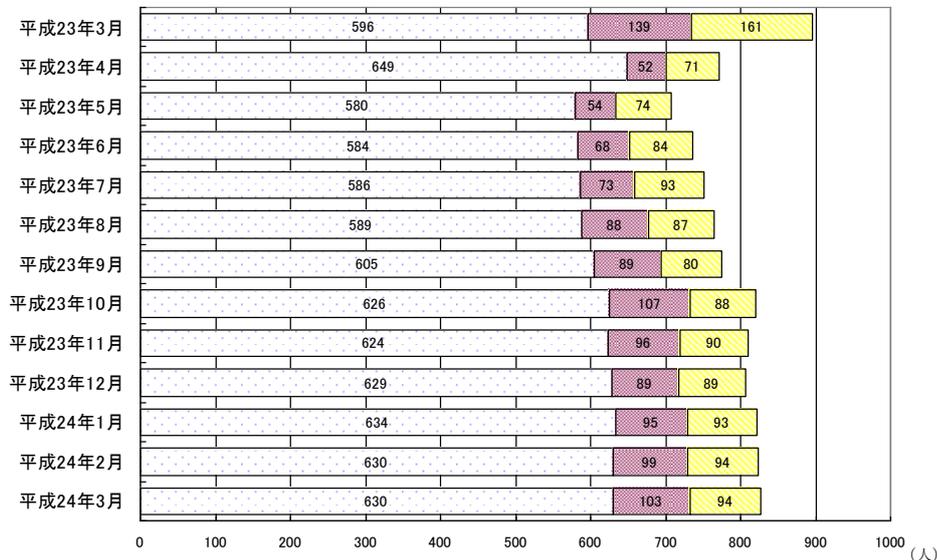
図表 5.23 受入研究者数月別推移（独法等）【職位別】（短期）



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.24 受入研究者数月別推移（独法等）【分野別】（短期）

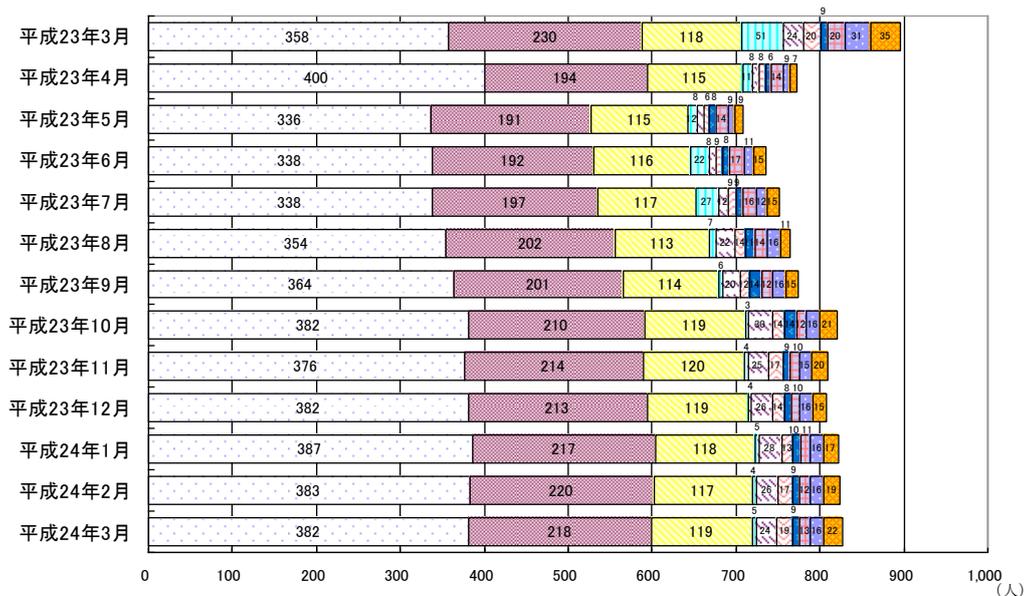
自機関で雇用している外国人教員・研究員等 海外大学から招へい・来日した外国人研究者
 大学以外の海外機関から招へい・来日した外国人研究者



(注) 雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.25 受入研究者数月別推移（独法等）【雇用／招へい別】（中長期）

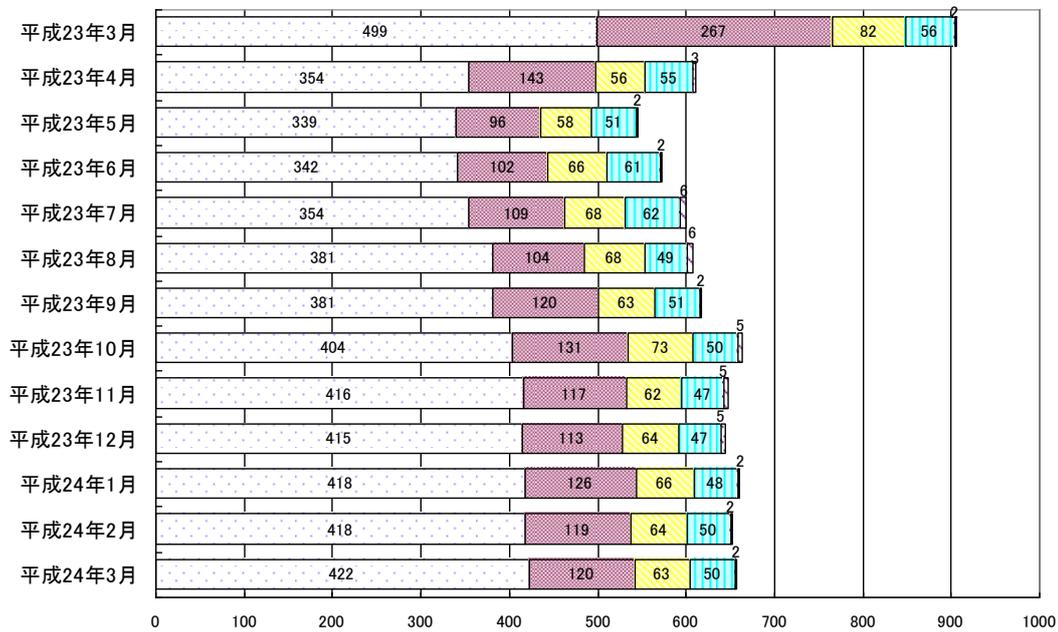
大学以外【ポストドク・特別研究員等】 大学以外【一般研究員 (Researcher)】
 大学以外【主任研究員 (PI)、グループリーダー以上】 大学以外【職位不明】
 大学【ポストドク・特別研究員等】 大学【助手・助教 (Assistant Professor等)】
 大学【講師 (Instructor等)】 大学【准教授 (Associate Professor等)】
 大学【教授 (Professor等)】 大学【職位不明】



(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.26 受入研究者数月別推移（独法等）【職位別】（中長期）

□ 理学 □ 工学 □ 農学(農林・水産・獣医・畜産・その他) □ 保健(医歯薬学・その他) □ 人文・社会科学 □ 不明



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

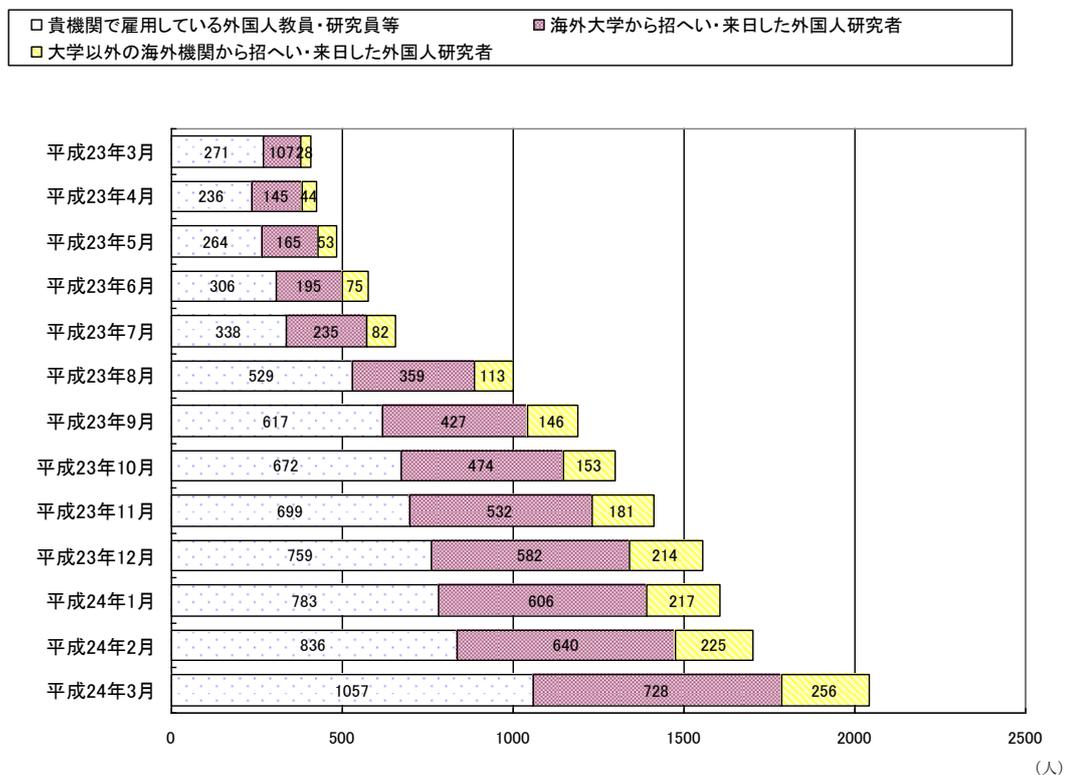
図表 5.27 受入研究者数月別推移(独法等)【分野別】(中長期)

(3)中長期受入研究者の退職(平成 23 年 3 月以降月別)

①大学等の中長期受入研究者の退職数(雇用/招へい別、職位別、分野別、理由別)

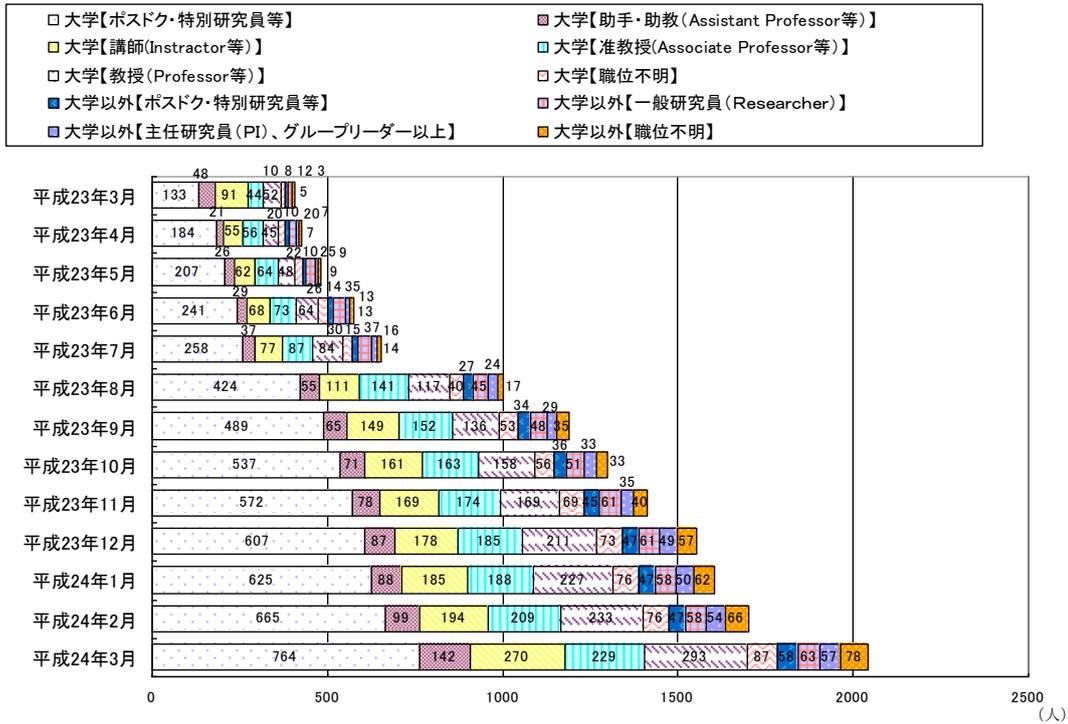
平成 23 年 3 月～平成 24 年 3 月の間の大学等における、中長期受入外国人研究者の退職等(退職者、もしくは派遣予定期間内に国外へ退避して再来日の予定がない者)の人数は、平成 23 年 3 月以降月ごとに増加しているが、7 月まではそれほど多くはない。海外の大学等の新年度が始まる 8 月に大幅に増加している。

理由についてみると、研究施設・設備の破損等研究環境の影響によるものは非常に少ない。研究環境以外での震災影響(例として、研究者本人や家族のストレス、母国政府からの帰国勧告、親族の勧め等)によるものは数十人の規模であった。



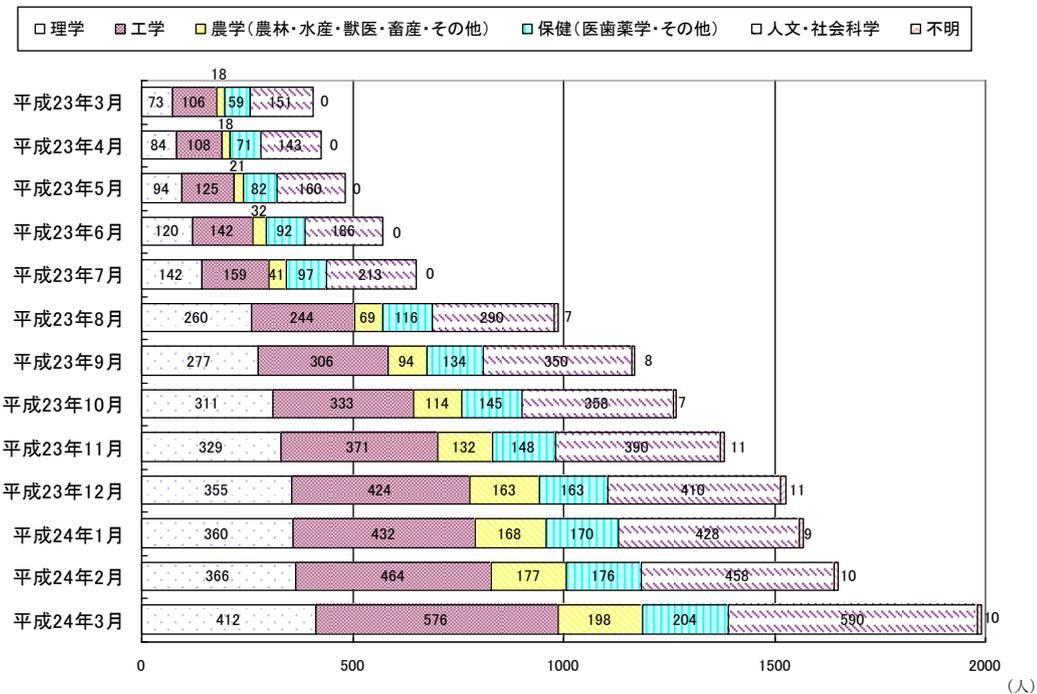
(注) 雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.28 中長期受入研究者の退職等月別推移(大学等)【雇用/招へい別】



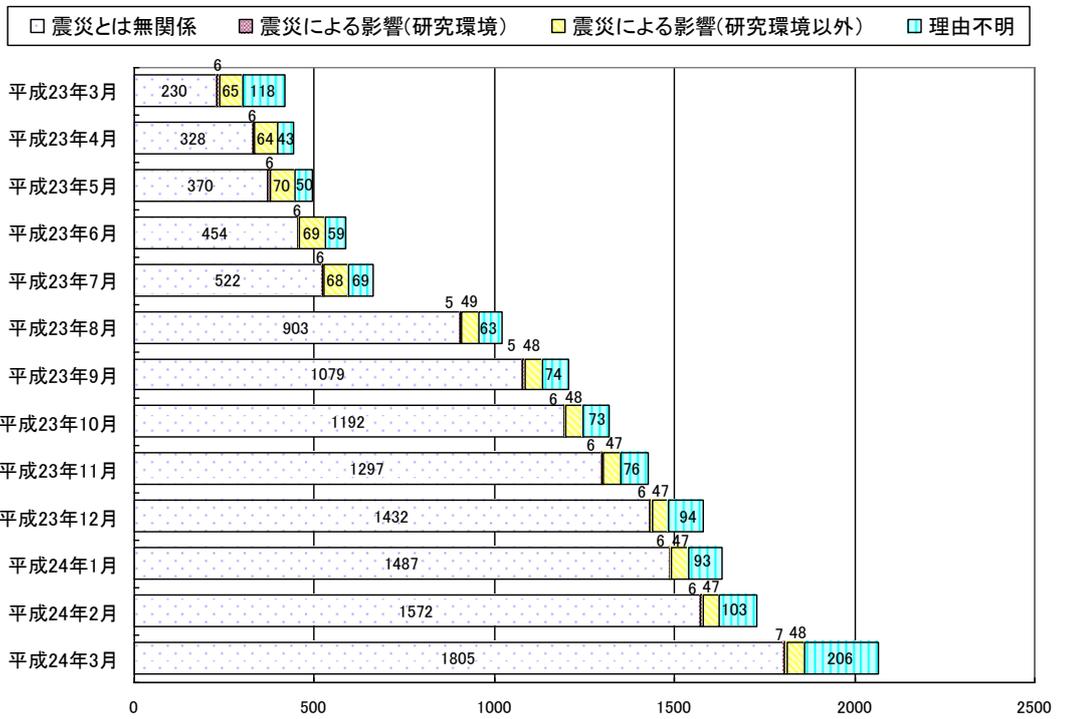
(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.29 中長期受入研究者の退職等月別推移（大学等）【職位別】



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.30 中長期受入研究者の退職等月別推移（大学等）【分野別】



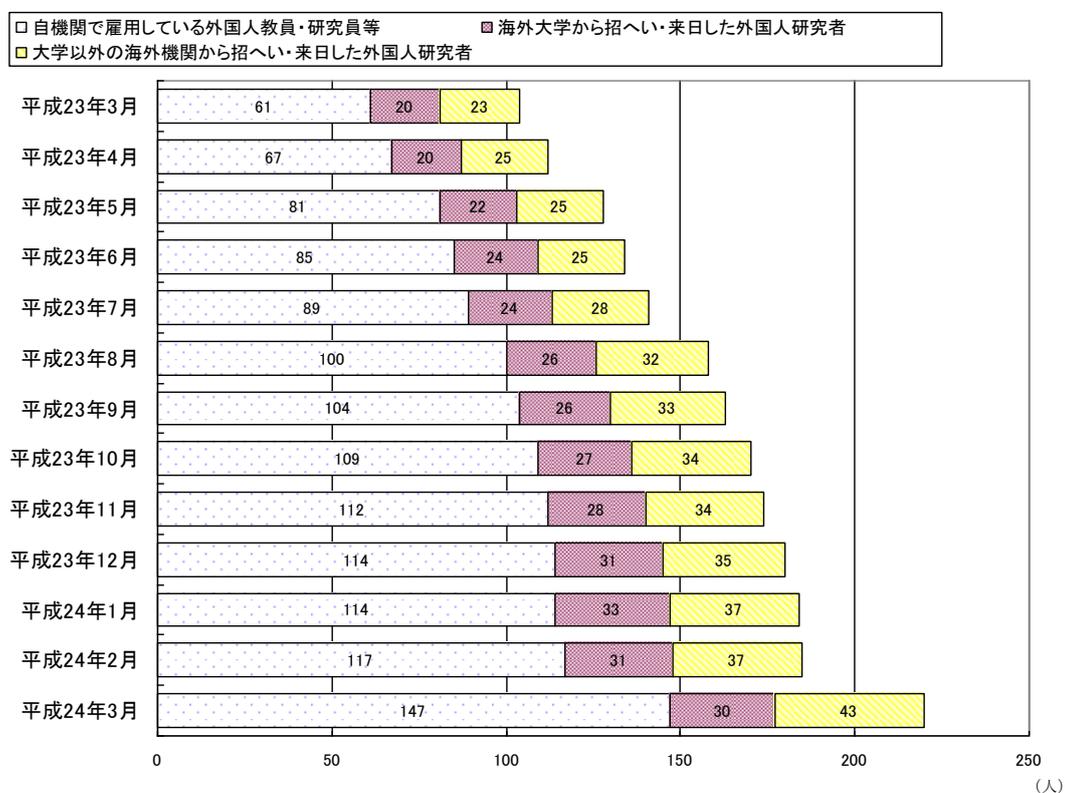
(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.31 中長期受入研究者の退職等月別推移（大学等）【理由別】

②独法等の中長期受入研究者の退職数（雇用／招へい別、職位別、分野別、理由別）

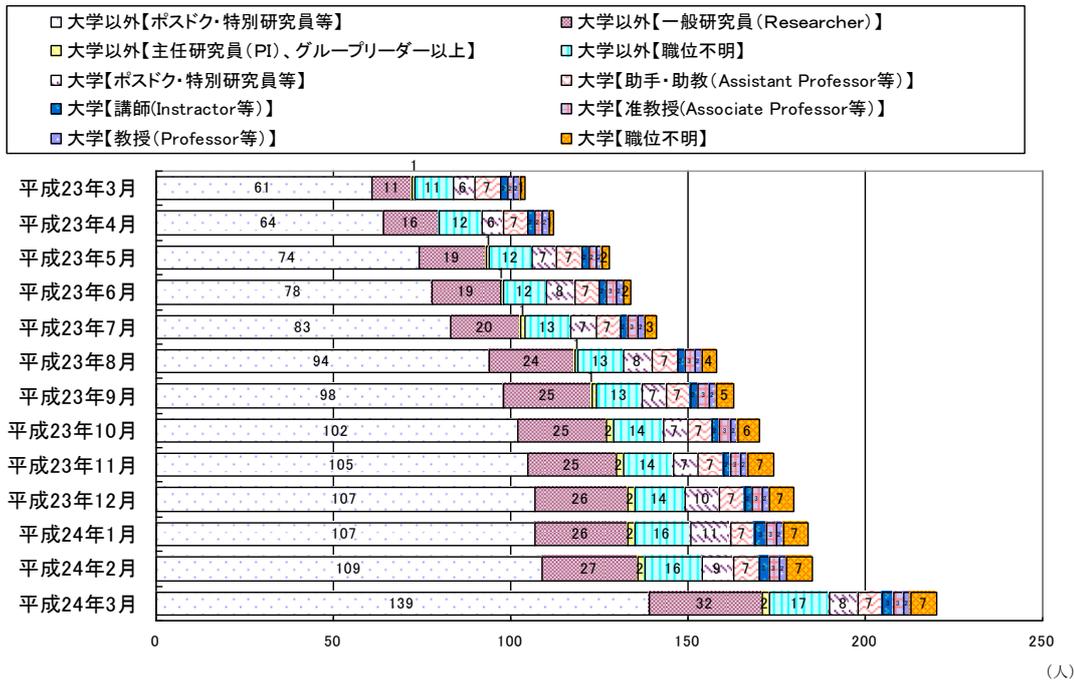
平成23年3月～平成24年3月の間の独法等における、中長期受入外国人研究者の退職等（退職者、もしくは派遣予定期間内に国外へ退避して再来日の予定がない者）は、平成23年3月以降毎月増加しているが、急激な変化はみられない。

理由別にみると、研究施設・設備の破損等研究環境の影響によるものはなかった。しかし、研究環境以外での震災影響による退職が多く、特に平成23年5～7月において6割程度となった。研究環境以外での震災影響によるとする割合は、震災から1年後の平成24年3月において4割程度（217人中85人）であり、大学等に比べて多い。



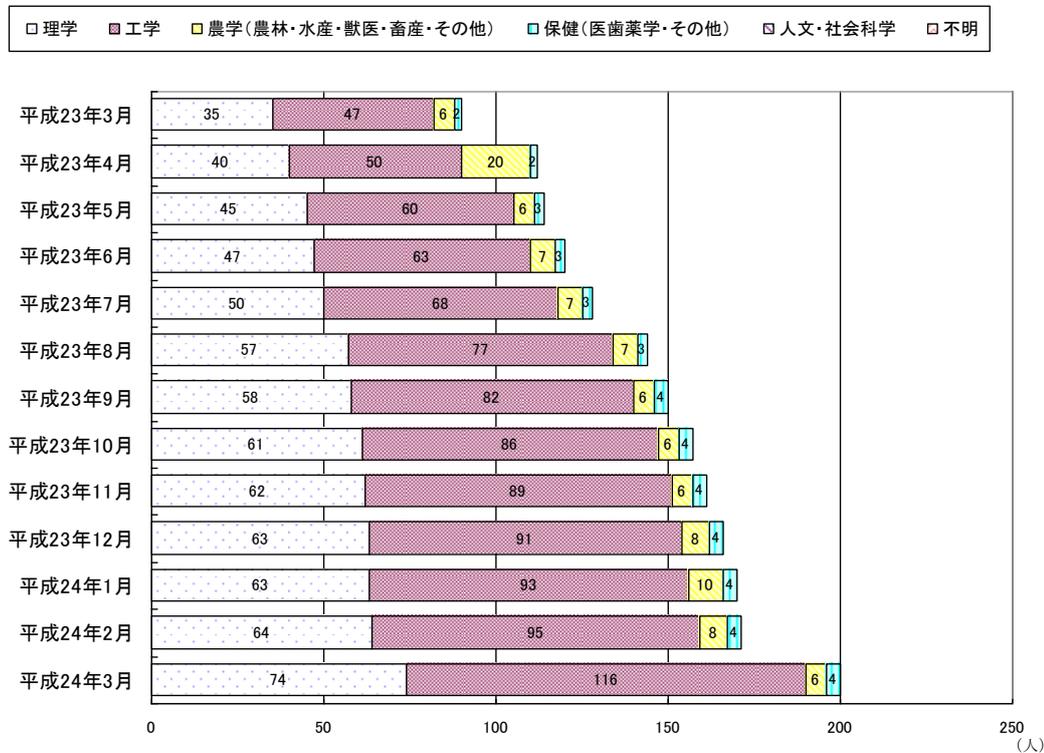
（注）雇用・招へいが不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.32 中長期受入研究者の退職等月別推移（独法等）【雇用／招へい別】



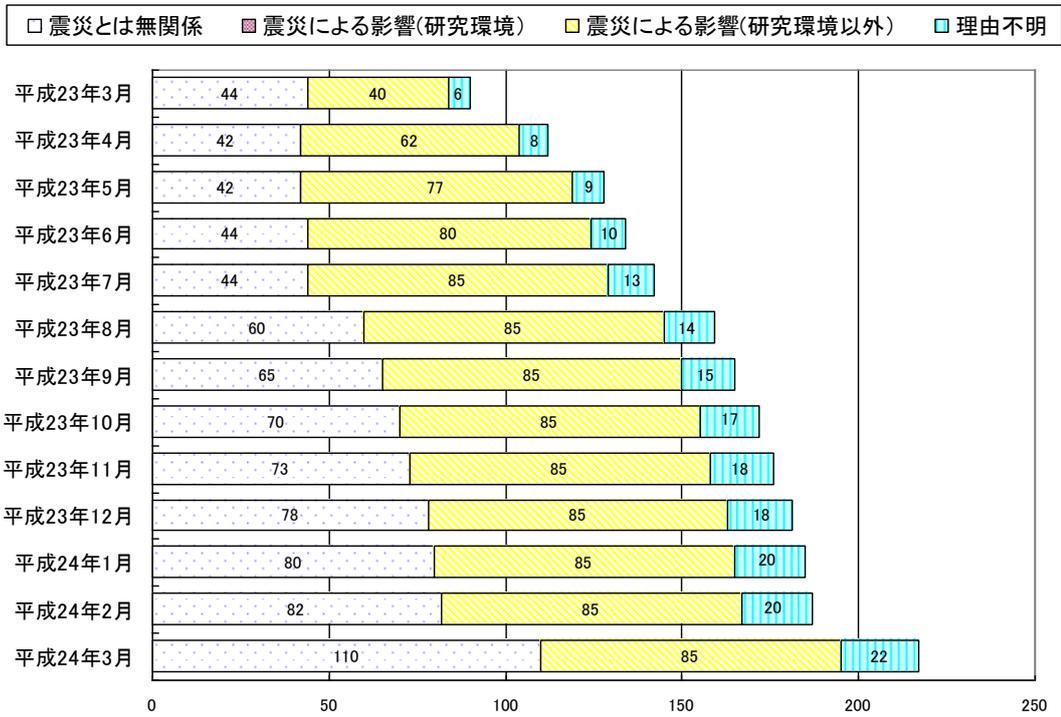
(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.33 中長期受入研究者の退職等月別推移（独法等）【職位別】



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.34 中長期受入研究者の退職等月別推移（独法等）【分野別】



(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

(人)

図表 5.35 中長期受入研究者の退職等月別推移（独法等）【理由別】

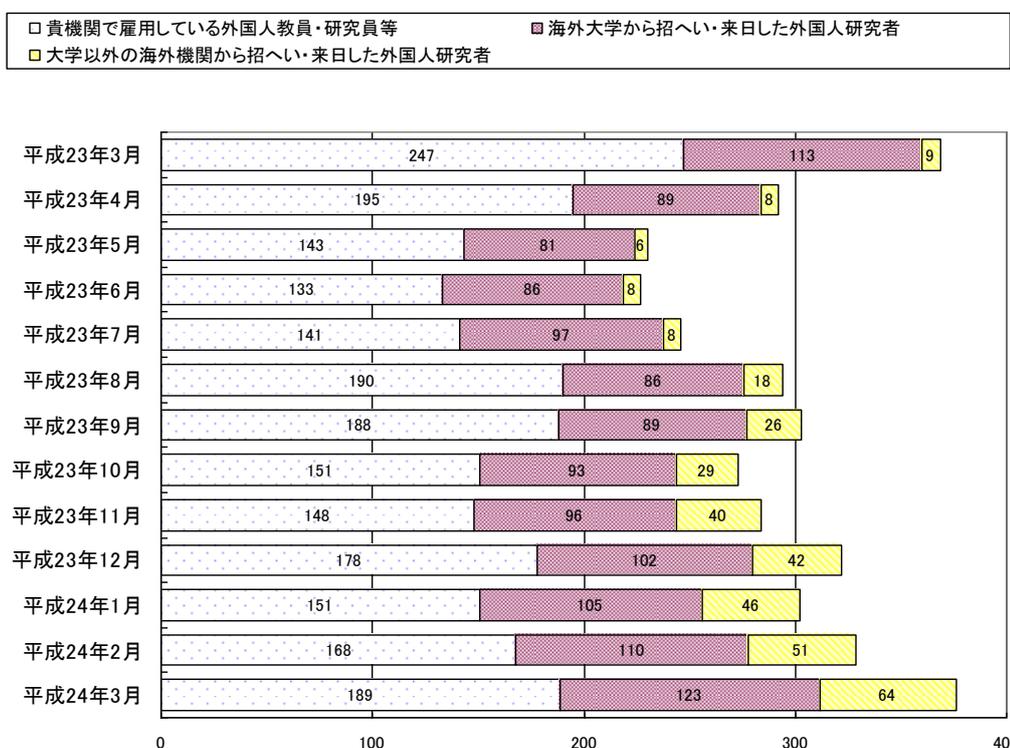
(4)中長期受入研究者の一時移動(平成23年3月以降月別)

①大学等の中長期受入研究者の一時移動数(雇用/招へい別、職位別、分野別、理由別)

大学等における、中長期受入研究者の一時移動(退職者や再来日の予定がない者以外の、外国退避)は、平成23年3月が369人と多く、平成23年4月から6月にかけては一時移動数が減少している。

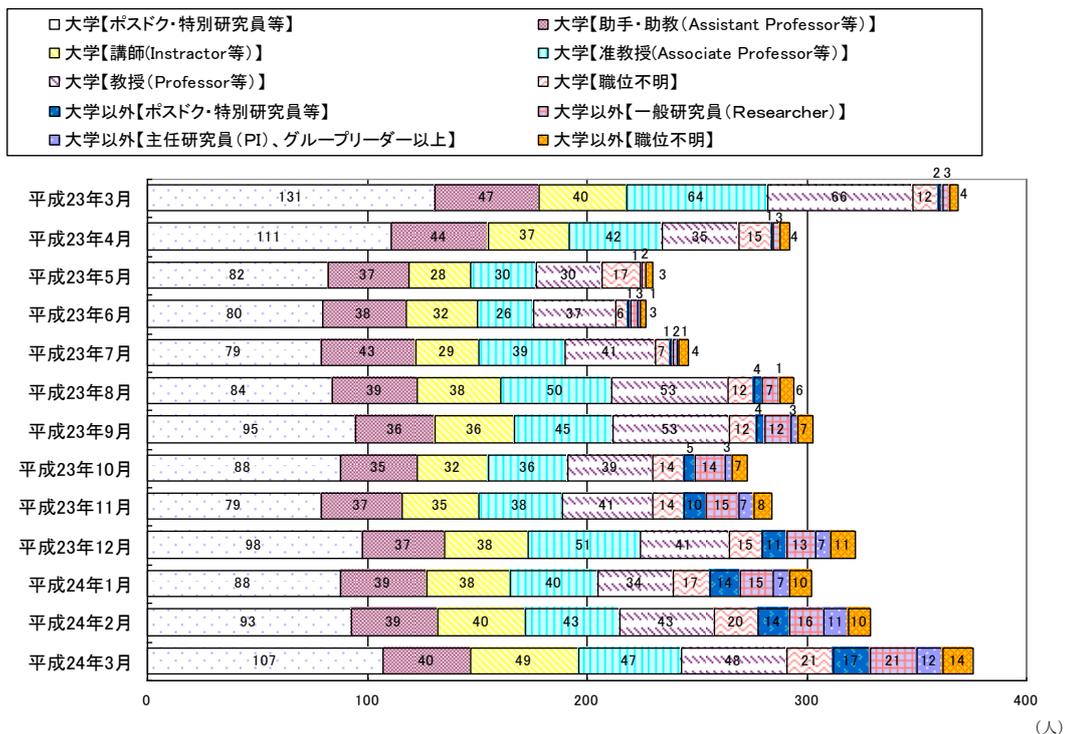
なお、一時移動した外国人研究者は、その月以降戻った月の前月まで、月ごとに計上している。

理由別にみると、研究施設・設備の破損等研究環境の影響による一時移動は少ないものの、平成23年4月には13人となった。研究環境以外での震災影響によるものは平成23年3月が100人、4月が77人であったが、その後は低下して10人強となった。



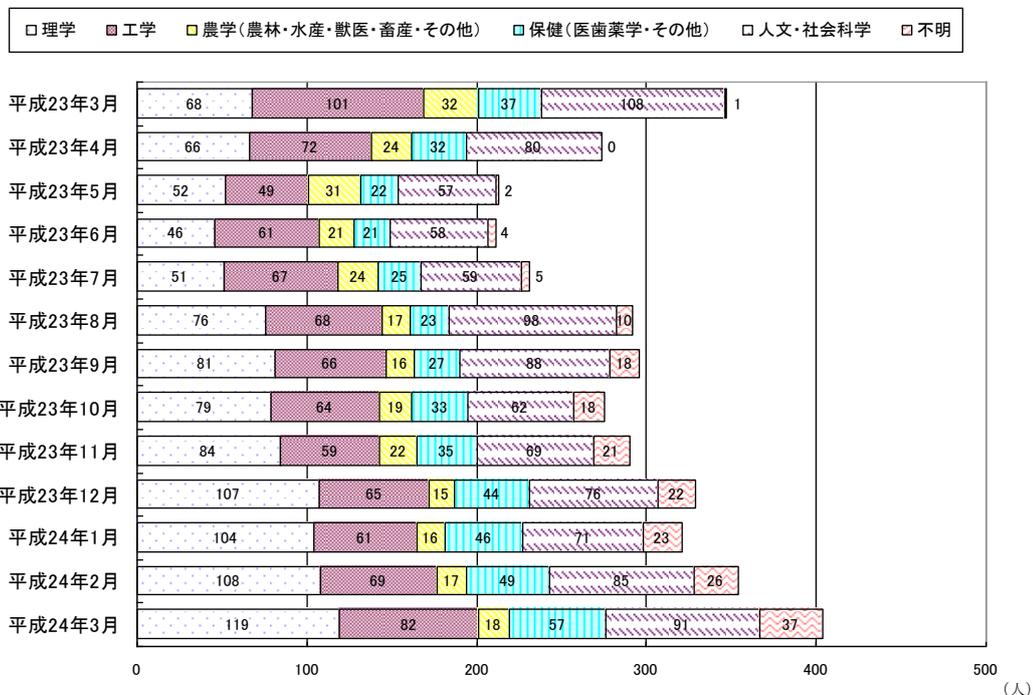
(注) 雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.36 中長期受入研究者の一時移動月別推移(大学等)【雇用/招へい別】



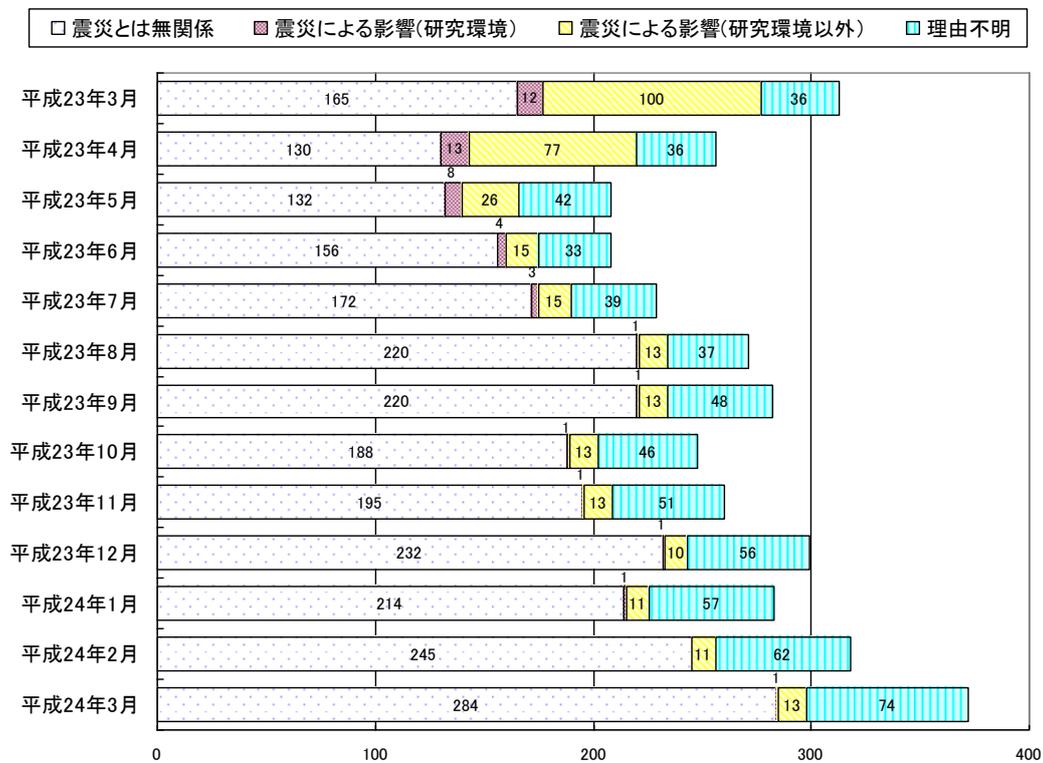
(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.37 中長期受入研究者の一時移動月別推移 (大学等)【職位別】



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.38 中長期受入研究者の一時移動月別推移 (大学等)【分野別】



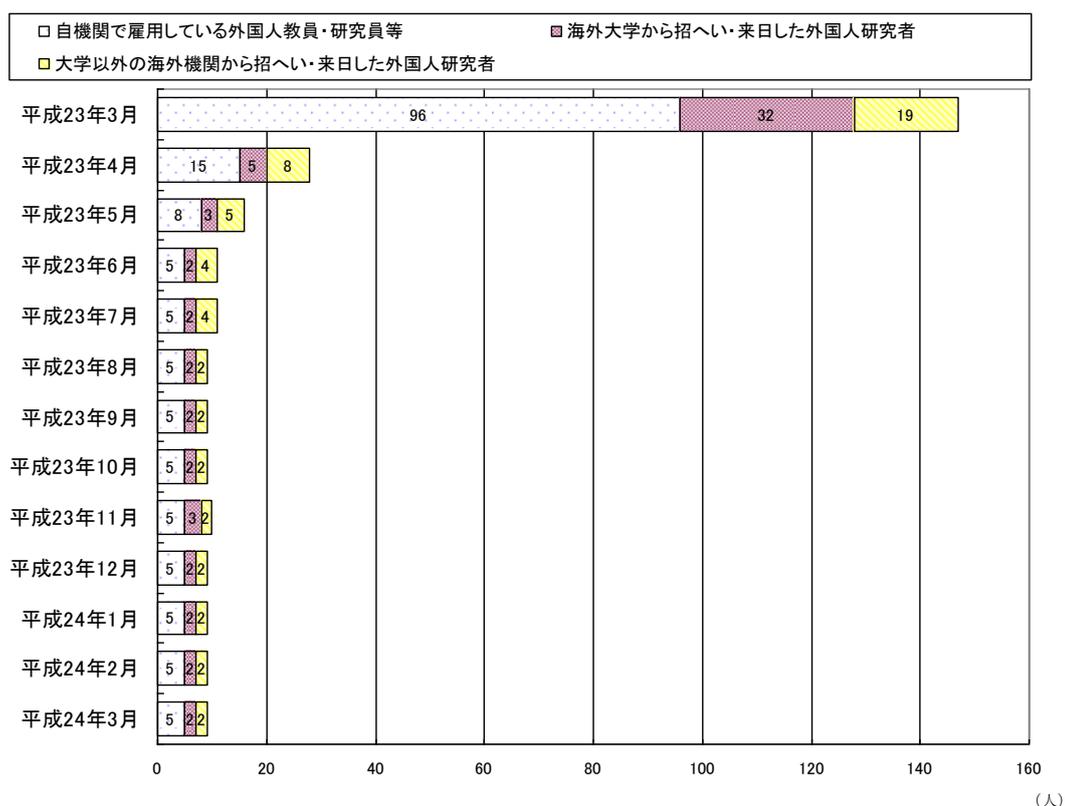
(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.39 中長期受入研究者の一時移動月別推移 (大学等) 【理由別】

②独法等の中長期受入研究者の一時移動数（雇用／招へい別、職位別、分野別、理由別）

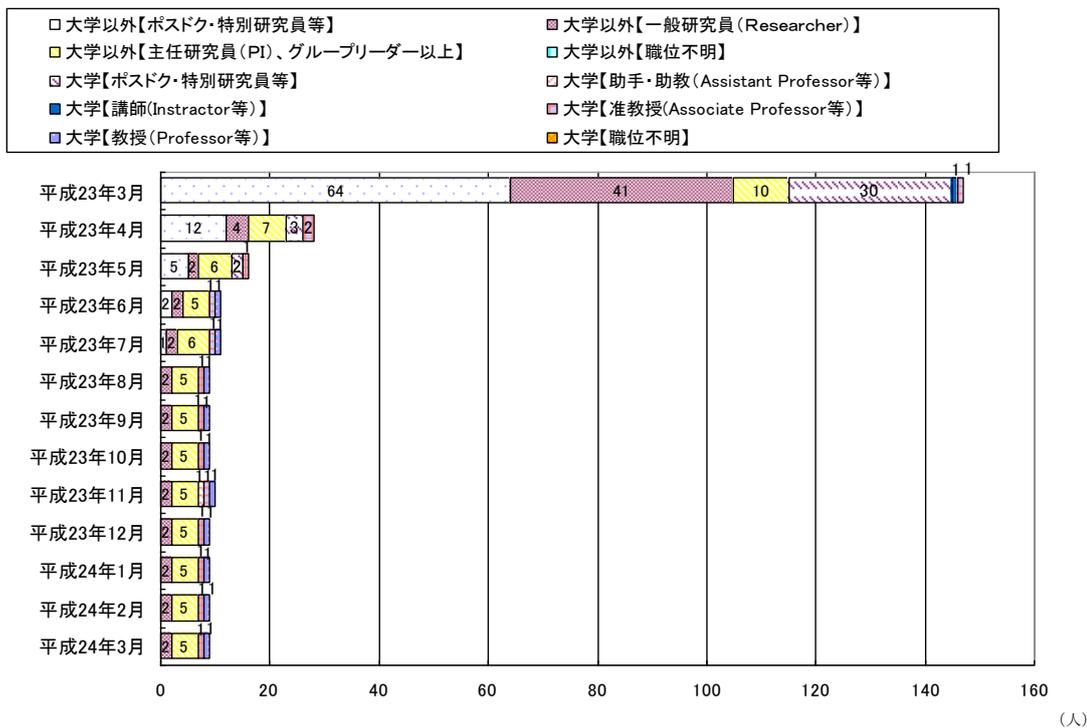
独法等における中長期受入外国人研究者の一時移動（退職者や再来日の予定がない者以外の、外国退避）は、平成23年3月が147人と圧倒的に多く、その後大きく減少して10人前後で推移した。

理由別にみると、研究施設・設備の破損等研究環境の影響による一時移動はなく、ほぼ全ての一時移動が研究環境以外での震災影響によるものであった。



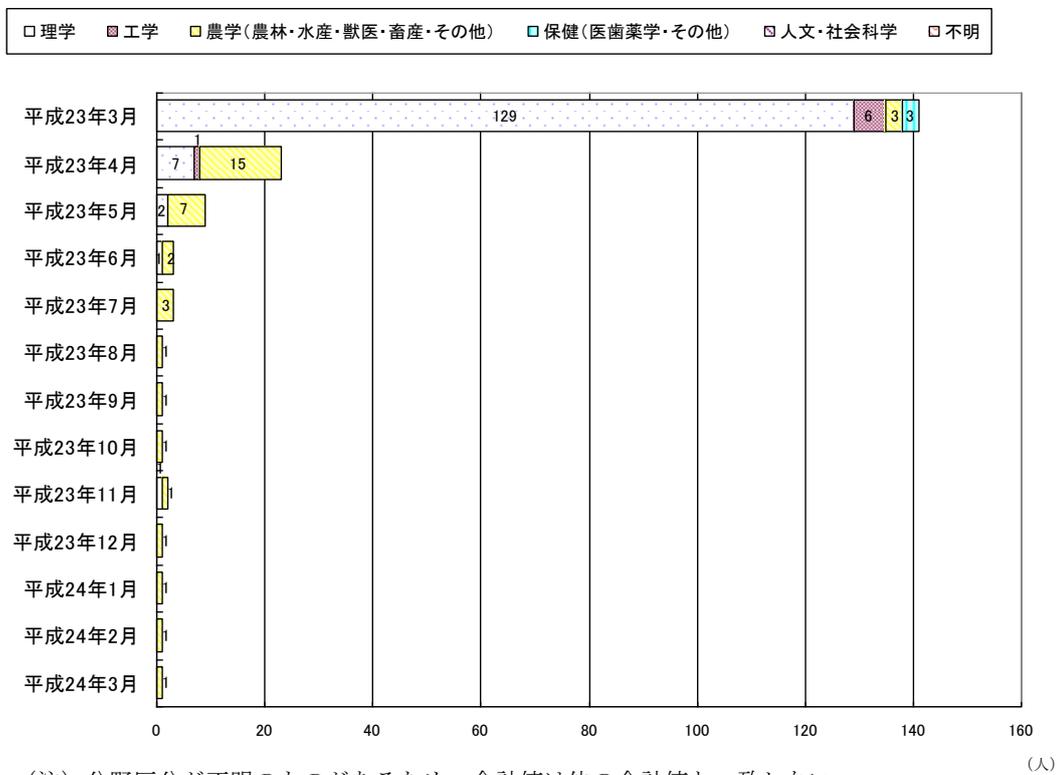
（注）雇用・招へい区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.40 中長期受入研究者の一時移動月別推移（独法等）【雇用／招へい別】



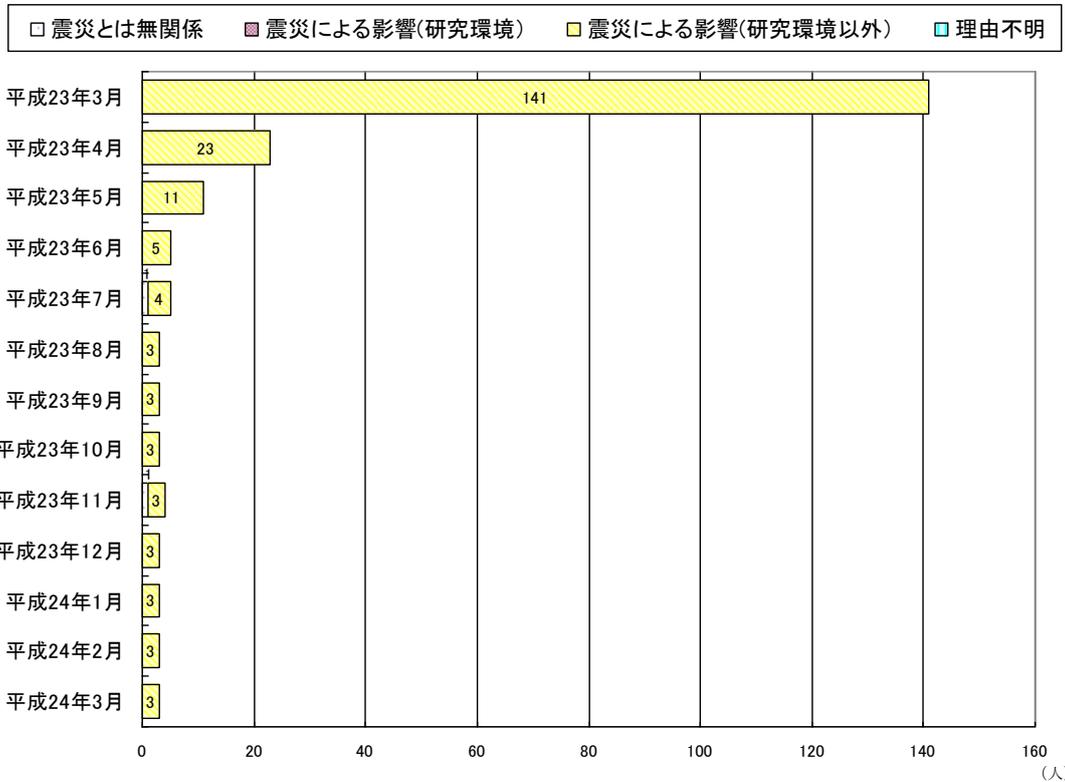
(注) 職位区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.41 中長期受入研究者の一時移動月別推移（独法等）【職位別】



(注) 分野区分が不明のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.42 中長期受入研究者の一時移動月別推移（独法等）【分野別】



(注) 理由が無回答のものがあるため、合計値は他の合計値と一致しない。

図表 5.43 中長期受入研究者の一時移動月別推移（独法等）【理由別】